

令和7年度(10月期入学)

金沢大学大学院自然科学研究科
博士前期課程
(一般選抜・特別選抜)

学 生 募 集 要 項

専攻名

数物科学専攻，物質化学専攻，機械科学専攻，
フロンティア工学専攻，電子情報通信学専攻，
地球社会基盤学専攻，生命理工学専攻

令和7年4月

金沢大学大学院自然科学研究科

日 程 (博士前期課程)

専攻・コース		一般選抜		特別選抜		合格者発表	
		出願期間	試験日	出願期間	選抜・試験日		
数物科学専攻	数学コース	6月5日(木)～ 6月11日(水)	[B試験] *1 7月5日(土) [A試験] 8月19日(火)	6月5日(木)～ 6月11日(水)	社会人	8月19日(火)	
	物理学コース				外国人留学生		
計算科学コース	社会人						
物質化学専攻	化学コース				外国人留学生		8月19日(火)
	応用化学コース				出身学部等限定*2		7月5日(土) [8月19日(火)]
機 械 科 学 専 攻					社会人		8月19日(火)
			外国人留学生		8月19日(火) 8月20日(水)		
			出身学部等限定*2		[B試験] *6 7月5日(土) [A試験] 8月19日(火) 8月20日(水)		
			社会人		8月19日(火)		
			外国人留学生		8月19日(火) 8月20日(水)		
			出身学部等限定*2		8月19日(火) 8月20日(水)		
フロンティア工学専攻							
電子情報通信学専攻		社会人	8月19日(火)				
		外国人留学生	8月19日(火) 8月20日(水)				
地球惑星科学 コ ー ス	地球社会基盤学専攻	社会人	8月19日(火)				
		外国人留学生	8月19日(火) 8月20日(水)				
社会基盤工学 コ ー ス		出身学部等限定*2	7月5日(土) [8月19日(火)]				
		社会人	8月19日(火)				
生物科学 コ ー ス	生命理工学専攻	外国人留学生	8月19日(火)				
		出身学部等限定					
バイオ工学 コ ー ス		社会人	8月19日(火)				
		外国人留学生	8月19日(火) 8月20日(水)				
		出身学部等限定*2	7月5日(土) [8月19日(火)]				

備考

- 注1. 一般選抜 [B試験] の*1の詳細については、「XI. 一般選抜 [B試験]」(23～24ページ)を参照してください。
- 注2. 出身学部等限定特別選抜の*2の詳細については、「XIV. 出身学部等限定特別選抜」の各コースの「2. 選抜方法(試験科目, 試験日時)」(28～33ページ)を参照してください。
- 注3. 出願資格によっては、出願前に出願資格審査が必要な場合があります。審査に必要な書類の提出期間は、令和7年5月19日(月)～令和7年5月23日(金)までとなっており、上記の出願期間より期日を早く定めております。詳細については、「IV. 出願資格」, 「V. 出願資格事前審査」(9～10ページ)を参照してください。
- 注4. 出願条件によっては、令和7年5月26日(月)までに志望する専攻長又はコース長に申し出る必要があります。詳細については、XI～XIVにある各選抜の「出願条件」, 「出願条件等」を参照してください。
- 注5. 試験日及び試験科目等の詳細については、XI～XIVにある各選抜の「選抜方法」を参照してください。
- 注6. 機械科学専攻の出身学部等特別選抜 [B試験] の*6の詳細については、募集人員を除き一般選抜に準じますので、「XI. 一般選抜 [B試験]」(23～24ページ)を参照してください。

(注) 本入学者選抜に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項及び本学Webサイトを熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。

『自然災害により被災された志願者の検定料免除について』

金沢大学では、自然災害等の被災者の経済的負担を軽減し、志願者の進学の機会を確保するため、検定料免除の特別措置を講じます。対象とする自然災害及び被災地域など、免除に関する詳細は、本学Webサイトを確認してください。

本学（入試情報）Webサイト 本学トップページ>入試情報・高大院接続
<https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/>

検定料の免除を希望する場合は、出願前に本学学務部入試課まで連絡してください。

連絡先 TEL：076-264-5180 E-mail：nyushi-kafuku@adm.kanazawa-u.ac.jp

目 次

I. 募集人員	5
II. 募集専攻	5
III. 入学者受入方針	6
IV. 出願資格	9
V. 出願資格事前審査	10
VI. 出願期間	11
VII. 出願手続	11
VIII. 試験場	17
IX. 英語外部試験スコア	17
X. 合格者発表	19
XI. 一般選抜	19
[A試験]	20
[B試験]	23
XII. 社会人特別選抜	25
XIII. 外国人留学生特別選抜	26
XIV. 出身学部等限定特別選抜	28
《 i. 物質化学専攻（化学コース） 》	28
《 ii. 物質化学専攻（応用化学コース） 》	28
《 iii. 機械科学専攻 》	29
《 iv. 地球社会基盤学専攻（地球惑星科学コース） 》	29
《 v. 地球社会基盤学専攻（社会基盤工学コース） 》	30
《 vi. 生命理工学専攻（生物科学コース） 》	31
《 vii. 生命理工学専攻（バイオ工学コース） 》	32
XV. 共通事項（一般選抜・特別選抜）	34
1. 身体に障がいのある者等の事前相談	34
2. 専攻長・コース長への事前連絡	34
3. 大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例制度	35
4. 長期履修制度	35
5. 各専攻における注意事項及び配点	36
6. 研究分野・担当教員名簿	38
7. 問合せ先	38
8. 個人情報の保護	38
9. 本学入学者選抜における性別情報	38
10. その他	39
XVI. 学生生活	39
1. 授業料等納付金	39
2. 入学料免除	39
3. 授業料免除	39
4. 奨学金	39
5. 金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト (HaKaSe(ハカセプラス)+)	40
6. 本学が加入を義務付けている学生保険	41
7. 外国人留学生の日本就職支援	42
自然科学研究科の所在地略図	43

令和7年度(10月期)
金沢大学大学院自然科学研究科(博士前期課程)学生募集要項
一般選抜・特別選抜

I. 募集人員

専攻	募集人員			
	一般選抜 (※1)	特別選抜		
		社会人	外国人留学生	出身学部等限定
数物科学専攻	若干名	若干名	若干名	—
物質化学専攻	若干名	若干名	若干名	若干名
機械科学専攻	若干名	若干名	若干名	若干名
フロンティア工学専攻	若干名	若干名	若干名	—
電子情報通信学専攻	若干名	若干名	若干名	—
地球社会基盤学専攻	若干名	若干名	若干名	若干名
生命理工学専攻	若干名	若干名	若干名	若干名

(※1) 一般選抜による募集人員の中には、特別選抜の募集人員を含みます。

II. 募集専攻

【数物科学専攻】：数学と物理学の有機的連携による新しい数物科学の教育研究を行います。

数学コース：数理解析学及び数理解析学に重点を置いたコース

物理学コース：実験物理学及び理論物理学に重点を置いたコース

計算科学コース：計算数理学及び計算機実験学に重点を置いたコース

修了者の取得学位は修士(理学又は学術)です。

【物質化学専攻】：化学コースでは物質動態・物質機能・物質設計に関する原子・分子レベルの基礎的教育研究を行います。修了者の取得学位は修士(理学又は学術)です。応用化学コースではエネルギー・環境問題の解決やマテリアルの創成を目指す応用的教育研究を行います。修了者の取得学位は修士(工学又は学術)です。

【機械科学専攻】：持続可能な社会の実現において、機械工学にはモノづくりの高度化だけでなく、IT化・グローバル化の進展など、急速な環境変化への対応が求められています。本専攻では、4つの学位プログラム(設計生産システムプログラム、先端材料プログラム、応用数理プログラム、プロセス革新プログラム)の連携によって、近未来社会の変化や発展を柔軟に予見しながら、機械工学分野とその学際領域における基盤および先端技術の教育研究を行います。修了者の取得学位は、修士(工学又は学術)です。

【フロンティア工学専攻】：フロンティア工学専攻では、電子機械、機械工学、化学工学、電子情報分野における高い専門教育と、既存の学術分野の境界を開拓し工学分野を融合した先端技術の教育研究を行います。修了者の取得学位は修士(工学又は学術)です。

【電子情報通信学専攻】：電気・電子・情報・通信工学の分野について総合的教育研究を行います。修了者の取得学位は修士(工学又は学術)です。

【地球社会基盤学専攻】：地球科学や社会基盤工学の多様な分野について複合的・総合的な教育研究を行います。地球惑星科学コースの修了者の取得学位は修士(理学又は学術)です。社会基盤工学コースの修了者の取得学位は修士(工学又は学術)です。

【生命理工学専攻】：生命現象の基礎からその応用まで、複合的かつ総合的な教育研究を行います。生物科学コース：生物学と海洋生物資源学に重点をおいたコース。修了者の取得学位は修士(理学又は学術)です。

バイオ工学コース：化学工学と生物学に重点をおいたコース。修了者の取得学位は修士(工学又は学術)です。

Ⅲ. 入学者受入方針

【数物科学専攻】：自然科学の基礎分野に興味を持ち、数学や物理学又は計算科学に関する基礎知識を備えており、自らの専門分野に強い探究心があるとともに、一般企業や研究機関の研究者や教育機関の教員として、将来活躍することを目指す、意欲ある学生を求めます。

入学者選抜の基本方針

「数学コース」数学の専門的基礎科目(微分積分, 線形代数, 集合と位相, 複素関数論)の学力と英語の読解力・運用力を重視します。また、数学を学ぼうとする意欲と総合的能力を口述試験を通じて評価します。

「物理学コース」物理学の専門的基礎科目(力学(解析力学を含む), 電磁気学, 熱統計力学, 量子力学等)の学力と、科学分野の国際的な公用語である英語の学力を重視します。また、物理学を学び、それにより社会の発展に貢献する意欲を口述試験を通じて評価します。

「計算科学コース」計算科学の専門的基礎科目としての数学(微分積分, 線形代数), 基礎物理(力学, 電磁気学, 量子力学, 熱統計力学), 計算機(プログラミング, 数値計算)の学力, 及びコミュニケーションの手段としての英語の学力を重視します。また、数理現象, 自然現象に対する関心の高さ, 興味の深さを動機付けとして口述試験を通じて評価します。

入学前に必要な基礎学力

「数学コース」英語及び数学の専門的基礎科目(微分積分, 線形代数, 集合と位相, 複素関数論)についての基礎学力を身につけておくことが必要です。

「物理学コース」英語及び物理学の専門的基礎科目(力学(解析力学を含む), 電磁気学, 熱統計力学, 量子力学等)についての基礎学力を身につけておくことが必要です。

「計算科学コース」英語及び計算科学の専門的基礎科目としての数学(微分積分, 線形代数), 基礎物理(力学, 電磁気学, 量子力学, 熱統計力学), 計算機(プログラミング, 数値計算)についての基礎学力を身につけておくことが必要です。

【物質化学専攻】：物質化学専攻では、物質をキーワードとし、自然界で起こる様々な現象を原子核レベルから分子集合系レベルまでの広い範囲にわたって化学的に理解すると同時に、21世紀に必要とされる環境に適合した新しい機能性物質の創成と応用、さらにそれらの実用化に至るまでの自然界と調和した社会の確立と産業の持続的発展と構築を目指し「基礎化学及び応用化学」を通じてグローバル社会に積極的にチャレンジする情熱と意欲をもつ学生を求めています。加えて、研究を通して得た成果を広く世界に向けて発信し、さらに高度な学問を学ぼうとする意欲的な学生を求めています。

入学者選抜の基本方針

基礎から専門にわたる化学の知識と理解度、及び英語の学力を重視します。また、口述試験(成績証明書を含む)により、専門基礎学力、勉学意欲等を評価します。

入学前に必要な基礎学力

物理化学, 無機化学, 有機化学, 分析化学などの化学系基礎科目及び実験技術について十分に理解・修得できていることが必要です。また、教養・基礎科目(言語, 社会系, 自然科学系科目)も自分の知見を広げると共に、意見をまとめコミュニケーションを行うために必要です。さらに、化学の専門知識・技術とともに幅広い教養と豊かな人間性を身につけ、科学・科学技術・文化の発展と充実に貢献し、グローバル社会および地域社会に積極的に貢献できる理学及び工学的素養を身につけてください。

【機械科学専攻】：機械工学分野における専門性を深化させるとともに、学際的な課題や技術革新に対応できる専門知識と俯瞰力・総合化力を醸成し、高い倫理観と国際性のもと、未来を見据えた機械科学の探求によって人類社会の持続的発展に貢献できる専門性の高い技術者を育成します。このような観点から、本専攻では、次のような能力・資質を備えた入学者を求めます。

1. 数学・物理学の基礎学力及び機械工学全般にわたる基本的な知識を備える人
2. 講義や教科書の理解及び国際コミュニケーションに必要な英語力を有している人
3. 志望するプログラムに関心を持ち、創造的・独創的に思考しながら、主体的に研究課題に取り組む意欲を持つ人
4. 新しい機械科学を開拓し、人類社会の持続的発展と国際社会に貢献しようとする意欲に満ちた人

入学者選抜の基本方針

機械工学分野における基礎的素養と学習意欲を問うための学力検査と口述試験を行います。さらに、英語外部試験スコアを利用して、英語能力の審査を行います。これらの結果に基づいて、志願者の能力や資質を総合的に評価します。

入学前に必要な基礎学力

数学、物理学、機械系基礎科目(材料力学、振動工学、流れ学、熱力学等)の学力、文献の読解や国際コミュニケーションのための英語力が求められます。

【フロンティア工学専攻】：工学の各分野における専門性を深化させるとともに、これらを融合して未来社会で必要とされる課題やイノベーションに対応できる専門知識と俯瞰力・総合化力を醸成し、高い倫理観と国際性のもと、人類社会の持続的発展に貢献できる技術者・研究者を育成します。このような観点から、本専攻では、次のような能力・資質を備えた入学者を求めます。

1. 数学・物理学の基礎学力及び電子機械、機械工学、化学工学、電子情報工学の各分野における基本的な知識を備える人
2. 講義や専門書、学術論文や特許の理解及び国際コミュニケーションに必要な英語力を有している人
3. 志望するプログラムに関心を持ち、創造的・独創的に思考しながら、主体的に研究課題に取り組む意欲を持つ人
4. 先端技術により未来社会を開拓し、人類社会の持続的発展と国際社会に貢献しようとする意欲に満ちた人

入学者選抜の基本方針

フロンティア工学専攻では、機械工学系、化学工学系あるいは電子情報工学系における基礎的素養と学習意欲を問うための学力検査(筆記試験、口述試験)、英語外部試験スコア、学業成績証明書を総合的に評価します。

入学前に必要な基礎学力

機械工学系：数学、専門科目(材料力学、振動工学、流れ学、熱力学)、英語

化学工学系：数学、専門科目(プロセス工学量論、移動現象論(流体工学・伝熱工学)、化学反応速度論・反応工学、化学工学熱力学・物理化学)、英語

電子情報工学系：数学、専門科目(電気回路、電子回路、論理回路)、英語

【電子情報通信学専攻】：創造力豊かで、新分野開拓にも意欲を持ち、自立心と統率力、国際性を備えた、電気電子工学、情報通信工学分野の研究者や技術者の育成を目指します。また、最新の情報技術からグローバルなエネルギー対策や環境問題まで、専門性に加えて総合的・学際的な課題に取り組むことができる人材を育成します。さらに、世界に情報を発信できる専門家として、研究成果に関する的確なプレゼンテーション力とディスカッション力、英語でのコミュニケーション力を有する国際人の育成を行います。

このため、本専攻では、電気電子工学、情報通信工学の専門知識を有し、自らの専門分野に強い探究心を持ち、さらに高度な学問を学ぼうとする意欲的な学生を受け入れます。

入学者選抜の基本方針

学力検査(数学および専門科目の筆記試験、口述試験)、英語外部試験スコア、学業成績証明書等を総合して評価します。

入学前に必要な基礎学力

英語，数学，専門科目（電気回路，電子回路，電気磁気学，情報理論，アルゴリズムとデータ構造，論理回路等）

【地球社会基盤学専攻】：21世紀における地球生命圏の保全，地域環境の形成及び社会基盤整備においては，われわれ人類の生存基盤となる地球，日常の生活基盤となる社会及びそれらを取り巻く環境を対象に，理学と工学の両面から柔軟に思考できる能力が求められます。本専攻では明確な倫理観と論理的思考のもと，地球惑星科学・環境科学や環境工学，土木工学，防災工学，都市工学に関わる俯瞰的で幅広い基礎知識と特化した専門知識を有し，地域からグローバルまでさまざまな局面において，社会をリードする研究者・技術者・教育者を養成します。科学的探究心に富み，これらの分野の専門知識を深めて活躍したいと考えている学修意欲のある人の入学を期待します。

入学者選抜の基本方針

地球社会基盤学専攻は，学力検査（英語外部試験，筆記試験及び口述試験）及び学業成績証明書により，英語と数学，地球惑星科学の探求，地域環境の形成及び社会基盤整備の幅広い局面で必要となる知識に関する志願者の能力や資質を総合的に評価します。

入学前に必要な基礎学力

英語及び課程教育の基礎となる数学，並びに地質学，古生物学，岩石学，鉱物学，結晶学，地球環境学，地球年代学及び地球物理学，又は構造力学，水理学，土質力学，計画数理学及び環境工学等の習得が必要です。

【生命理工学専攻】：本専攻では，豊かで持続可能な自然環境ならびに自然と調和のとれた人間社会を実現するため，生命と生命現象の謎に挑戦する生命科学，海洋及び陸水圏の様々な生物種を対象として生理・生態を学び食料生産へと繋げる海洋生物資源科学と，生物学を工学的発想で人間社会に適用するバイオ工学の各分野で，研究に必要な専門知識と実践的スキル，国際社会で活躍できるプレゼンテーション・コミュニケーション能力，柔軟な課題設定・解決能力とプラン実践能力を身につけ，豊かな人間性と独創性を備えた人材を育成します。新分野を切り開く学術的探究心に富み，理学と工学の専門知識を活かして活躍したいと考えている学修意欲のある人の入学を期待します。

入学者選抜の基本方針

生命理工学専攻では，生物学，海洋生物資源学，バイオ工学のいずれかの分野に関する基礎知識を十分備えているとともに，他分野と連携し，科学の総合的な発展と人類の豊かな生活の実現に貢献する意欲ある学生を評価します。具体的には，学力検査（口述試験），英語外部試験スコアおよび学業成績証明書により，志願者の基礎的能力や資質ならびに学修意欲を総合的に判断します。

入学前に必要な基礎学力

自然科学全般に関する理解が必要ですが，特に生物学や海洋生物資源学（生物科学コース），化学や生物学（バイオ工学コース）に関する基礎学力は重要となります。

IV. 出願資格

各選抜に出願することができる者は、該当選抜欄に●のある号のいずれかに該当する者としてします。
 なお、出願資格以外にも、個別の出願条件が設定されている選抜もあります。出願条件の詳細は、各選抜の該当ページを参照してください。

一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜	出身学部等限定特別選抜	出 願 資 格
●	●	●	●	(1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した者及び令和7年9月30日までに卒業見込みの者
●	●	●	●	(2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和7年9月30日までに学士の学位を授与される見込みの者
●	●	●	●	(3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年9月30日までに修了見込みの者
●	●	●	●	(4) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者及び令和7年9月30日までに修了見込みの者
●	●	●	●	(5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年9月30日までに修了見込みの者
●				(6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が三年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者(※1)
●	●	●	●	(7) 文部科学大臣の指定した者
●	●		●	(8) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年9月30日までに修了見込みの者
●			●	(9) 学校教育法第102条第2項の規定により本研究科以外の大学院に入学した者であって、当該者を本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの(※1)
●			●	(10) 次の①から④に該当する者であって、本研究科が、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの(※1) ① 令和7年9月30日までに学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学見込みの者(※2) ② 外国において学校教育における15年の課程を修了した者及び令和7年9月30日までに修了見込みの者 ③ 我が国において、外国の大学における15年の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者及び令和7年9月30日までに修了見込みの者 ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者及び令和7年9月30日までに修了見込みの者
●	●	●	●	(11) 本研究科において、個別の入学資格審査により、出願資格(1)に定める者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7年9月30日までに22歳に達するもの(※1)

- ※1. 出願資格(6), (9), (10)又は(11)により出願しようとする者は、出願前に個別に出願資格審査を行います。10ページの「Ⅴ. 出願資格事前審査」を参照してください。
- ※2. 出願資格(10)の①については、学校教育法の規定に基づき、大学に「編入学」した者(短期大学や専門学校等を卒業した者などが対象)は、適用されません。なお、休学した期間は、在学期間に含めないものとします。また、以下の出願資格審査の要件を満たす必要があります。
 - ア 出願時の成績証明書に記載されている修得単位数の9/10以上が80%以上の評価をされている者で、3年次末においても同様の成績基準を満たす見込みのもの
 - イ 4年次に履修すべき必修科目などを除き、令和7年9月30日までに卒業資格となるすべての単位を十分に余裕をもって修得する見込みの者

V. 出願資格事前審査

Ⅳ. 出願資格(6), (9), (10)又は(11)により出願しようとする者については、出願前に個別に出願資格審査を行います。

1. 提出書類

書 類 等	摘 要
入学試験出願資格認定申請書【様式Ⅰ】	本学Webサイトよりダウンロードした所定の様式をA4サイズで印刷したもの
出願書類等	本要項の「Ⅶ. 出願手続 2. 出願書類等」(11～13ページまで)の「③その他必要な提出書類」を提出してください。
出願資格(10)の①に関する書類	出願資格(10)の①により出願しようとする者のみ ア 推薦書(様式随意。厳封したもの。関係教員が記入し、学長又は所属長が推薦する。) イ 履修の手引等(授業内容一覧を含む。本学理工学域在学者は不要。) ウ 在籍期間証明書(休学期間を明記したもの。本学理工学域在学者は不要。令和7年4月1日以降に発行したものに限る。)

2. 提出期間

令和7年5月19日(月)から令和7年5月23日(金)まで

注)受付時間は午前9時から午後4時30分までです。

郵送の場合も提出期間の最終日までに必着(提出期間最終日の前々日の発信局日付印のある書留速達は有効)です。

3. 提出先

金沢大学理工系事務部学生課入試係

〒920-1192 金沢市角間町

TEL 076-234-6823

注)郵送する場合は、必ず、「書留速達」とし、封筒の表に「大学院自然科学研究科博士前期課程出願資格審査申請書類在中」と朱書してください。

4. 審査の結果

審査の結果は、申請者あて郵便により通知します。

認定された者は、出願期間内にWeb出願システムで出願情報の登録、検定料の支払、証明写真のアップロードを行い、出願確認票(提出用)を郵送(令和7年6月11日(水)までに必着。書留速達郵便に限る。)してください。出願確認票(提出用)の提出をもって、出願手続きが完了します。

なお、出願確認票(提出用)以外の出願書類をあらためて提出する必要はありません。

VI. 出願期間

令和7年6月5日(木)から令和7年6月11日(水)まで

注1. 受付時間は午前9時から午後4時30分までです。

郵送(書留速達に限る)の場合も、出願期間の最終日までに必着(出願期間最終日の前々日の発信局日付印のある書留速達は有効)です。

注2. 出願資格によっては、出願前に出願資格審査が必要な場合があります。審査に必要な書類の提出期間は、令和7年5月19日(月)～令和7年5月23日(金)までとなっており、上記の出願期間より期日を早く定めております。詳細については、「IV. 出願資格」、「V. 出願資格事前審査」(9～10ページ)を参照してください。

注3. 出願条件によっては、令和7年5月26日(月)までに志望する専攻長又はコース長に申し出る必要があります。詳細については、XI～XIVにある各選抜の「出願条件」、「出願条件等」を参照してください。

注4. Web出願システムは、令和7年5月29日(木)午前9時から事前登録が可能です。

VII. 出願手続

本学の出願方法は、Web 出願限定です。学生募集要項の紙媒体(冊子)での配布は行いません。

1. 出願手続

Web 出願の流れ



①Web出願システム

Web出願システムへは、本学(入試情報・高大院接続)Webサイトからアクセスできます。

(本学トップページ>入試情報・高大院接続>Web出願)

https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/admission-information/internet_entry

(Web出願を体験できるデモサイトを同ページに掲載しています。)



②出願書類の提出先

〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学理工系事務部学生課入試係

〈注意〉

Web出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは、完了しません。出願期間内に、証明写真のアップロード及び「2. 出願書類等」の窓口への持参又は郵送(出願期間に必着)を済ませ、内容に不備がなかった場合完了とします。

2. 出願書類等

[出願に当たっての注意事項]

出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。

出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更には応じません。

出願書類に不正な事実があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。

提出書類等と現在(出願時)の氏名等が相違している場合、改姓・改名等した(する)旨を記した書類(戸籍抄本等)を提出してください。

①Web出願システムでアップロード作業が必要なもの

証明写真データ	Web出願システムで登録及び検定料支払後、登録完了メールに記載されているURLから、志願者本人の写真のアップロードを行ってください (注) 志願者本人と判別できるもので、 カラー・上半身・無修正・無帽・正面向き・無背景・直近3ヶ月以内に撮影した100KB～5MBのjpg又はpng形式のデータ を使用してください。
---------	---

※証明写真以外のデータはアップロード不要です。

②Web出願システムから印刷するもの(印字されている内容に誤りがないか確認してください。)

※窓口を持参又は郵送してください。

出願確認票 (提出用)	<p>Web出願システムで登録後、申込確認ページからA4サイズでカラー印刷し、提出してください。</p> <p>(注1) 出願確認票は、検定料の支払及び証明写真のアップロードが完了しないと印刷できません。出願確認票(確認用)とは異なるので、注意してください。</p> <p>(注2) 出願の際に登録するメールアドレスは検定料の支払完了通知、出願後の各種連絡及び入学手続に関する連絡用に使いますので、入学手続期間開始前までは必ず受信可能なメールアドレスを登録してください。</p>
宛名ラベル	<p>Web出願システムで登録後、申込確認ページからA4サイズでカラー印刷したものを送付用の封筒に貼付けてください(普通紙印刷で糊付け可)。</p> <p>(注) 封筒は、市販の角形2号封筒(240mm×332mm)を使用し、書留速達で郵送してください。国際スピード郵便(EMS)での郵送も可能(その場合、印刷した宛名ラベルは同封する)です。</p> <p>※窓口を持参する場合は、宛名ラベル及び角形2号封筒は不要です。</p>

③その他必要な提出書類

※窓口を持参又は郵送してください。

①志願者調書【様式1】	氏名、志望する専攻・コース・系、研究分野、学歴、職歴を記入してください。
②学業成績証明書	出身大学長、学部長又は出身短期大学長、高等専門学校長、学校長発行のもの 学業成績証明書に卒業(修了)又は卒業(修了)見込みであることが記載されている場合は、卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書の提出は不要です。
③卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書	<p>注1. 短期大学専攻科又は高等専門学校専攻科の修了(見込)者は、<u>専攻科及び本科両方の証明書を提出</u>してください。</p> <p>注2. <u>外国の学校の修了(見込)者は、日本語又は英語で作成された証明書を提出</u>してください。</p>
※以下は該当者のみが提出してください。	
④推薦書・意見書【様式2】	<p><一般選抜 [B試験] (数物科学専攻) 志願者> 指導教員が作成・厳封したもので、志願者の将来の希望、素質及び能力等、また、本学での希望指導教員名を記入してあるもの</p> <p><社会人特別選抜志願者> 勤務先の所属長が作成・厳封したもの ただし、出願時在職していない者は原則として卒業研究の指導教員が作成・厳封したもの</p> <p><出身学部等限定特別選抜(地球社会基盤学専攻社会基盤工学コース)> 指導教員又は勤務先上司等が作成・厳封したもの</p>
⑤志願理由書【様式3】	<p>大学時代などこれまでの研究活動、数物科学専攻、地球社会基盤学専攻社会基盤工学コース又は生命理工学専攻を志望する理由、特に研究を希望する分野・内容、大学院での抱負、大学院修了後に活躍したい分野などについて簡潔・明瞭に記入してください。</p> <p>(数物科学専攻志願者は1,500字程度で、所定様式に記入しきれない場合は別葉を加えてください。地球社会基盤学専攻社会基盤工学コース志願者は1,000字以内で記入してください。生命理工学専攻志願者は、口述試験におけるプレゼンテーションの内容を中心に1,500字程度で記入してください。英語の場合、500単語程度で記入してください。)</p>
⑥自己申告書【様式4】	これまで興味を持って取り組んできたこと、得意科目、希望する研究分野・内容及び大学院進学後の抱負などについて、400字程度で簡潔にまとめて記入してください。
⑦研究(希望)計画書【様式5】	入学後に希望する課題又は分野等について、概要を1,000字程度にまとめて記入してください。
⑧受験許可書【様式6】	<p>官公庁・企業・団体等に在職のまま在学することを希望する者は、所属長(又は指導者)が作成した受験許可書を提出してください。</p> <p>なお、出願時に提出できない場合は、入学手続時に承諾書等を提出することとなります。出願期間前までに入試係へ問い合わせてください。</p> <p>本学Webサイトよりダウンロードした所定の様式をA4判で印刷したもの。</p>
⑨大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用申請について【様式7】	大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用(35ページ参照)を申請する者は、提出してください。(選抜方法に関わらず、申請できます。)

⑩業績内容調書(様式随意)	実務経験の業績等を1,000字程度にまとめたもの
⑪研究・開発業務等の概要 又は実務経験の概要 (様式随意)	出願資格(11)により出願する者は、「研究・開発業務等の概要」又は「実務経験の概要」(A4サイズ3枚以内)を提出してください。
⑫学士の学位授与証明書等	出願資格(2)により出願する者は、以下のものを提出してください。 [学位を授与された入学志願者] ○独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与証明書 [学位の授与を申請中の入学志願者] ○独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与申請受理証明書 [学位の授与を申請予定の入学志願者] ○短期大学長、高等専門学校長又は大学校長が作成した学位の授与を申請する予定である旨の証明書(様式随意) ※出願資格(2)により出願し、本研究科の選抜試験に合格した者で、学位授与の申請を行わなかった場合、その他学士の学位が得られないこととなった場合は、その旨を、本学大学院自然科学研究科長あてに速やかに通知してもらうよう短期大学長、高等専門学校長又は大学校長に申し出てください。
⑬国費外国人留学生及び奨学金延長予定証明書 【様式8】	本学Webサイトからダウンロードした所定の様式をA4サイズで印刷したもの又は同様式のもの(パソコン等での作成可。証明者において厳封してください。) ※国費外国人留学生で奨学金支給期間の延長申請をする(予定を含む)出願者のみ
⑭パスポートの写し	パスポート(氏名が記載されたページ)の写し ※外国人留学生の出願者のみ
⑮在留カードの写し	在留カード(表・裏)の写し ※外国人留学生で出願時に日本に在留している出願者のみ

※①, ④, ⑤, ⑥, ⑦, ⑧, ⑨, ⑬については、本学Webサイトよりダウンロードした所定の様式をA4サイズで印刷してください。

3. 検定料の支払

①検定料 30,000円

検定料の他に、サービス利用料として別途990円が必要です。

国費外国人留学生で奨学金支給期間の延長申請をする者(予定を含む)は、検定料の支払は不要です。出願する前に、7. 問合せ先(38ページ)へ連絡してください。

②支払期間

令和7年5月29日(木)～6月11日(水)

③支払方法

コンビニエンスストア(日本国内のみ)、銀行ATM(Pay-easyでの支払:日本国内のみ)、クレジットカード(VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club)及びネットバンキング(日本国内のみ、PayPay銀行及びセブン銀行の2行は利用できません。)のいずれかで支払可能です。

- (注) 1. 支払を完了すると、出願情報の修正はできません。必ず支払前に入力した出願情報(特にメールアドレスや電話番号)に間違いがないか確認してください。
2. 銀行窓口での支払はできません。
3. コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払はできません。
4. クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者と同一である必要はありません。
5. 領収書が必要な場合には、「コンビニエンスストア」を選択し、コンビニエンスストアが発行する領収書を利用してください。
6. 出願書類受理後は、いかなる理由があっても検定料の返還には応じません。
ただし、検定料の支払後、出願しなかった者及び出願受付後に無資格者であることが判明した者は返還手続を行うことができますので、令和8年3月31日(火)までに手続を行ってください。なお、締切を過ぎてからの請求には一切応じません。

検定料返還手続方法は、以下のURLを確認してください。
本学（入試情報）Web サイト
本学トップページ>入試情報・高大院接続>検定料免除・返還
https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/kenteiryo_henkan



4. 受験票の印刷

令和7年6月27日(金)に、Web出願システムより受験票の印刷が可能になります。「申込確認画面」からログインし、A4サイズで印刷してください。

- ①受験票には、受験上の注意・試験会場案内が確認できるWebサイトのURL及び2次元コードがあります。必ずアクセスして内容を確認の上、受験してください。
- ②氏名等に間違いがある場合には、理工系事務部学生課入試係へ連絡してください。
連絡先 076-234-6823
- ③試験当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。
- ④受験番号は、入学手続にも必要です。それまで「受験票」は大切に保管してください。

5. 出願の際に必要な書類一覧

専攻	選抜	① 志願者 調書 【様式1】	② 学業成績 証明書 ③ 卒業(修了) 証明書 又は 卒業(修了) 見込証明書	④ 推薦書・ 意見書 【様式2】	⑤ 志願 理由書 【様式3】	⑥ 自己 申告書 【様式4】	⑦ 研究 (希望) 計画書 【様式5】
数物科学	一般選抜A試験	○	○	—	—	—	—
	一般選抜B試験	○	○	○	○	—	—
	社会人特別選抜	○	○	○	—	—	○
	外国人留学生特別選抜	○	○	—	—	—	—
物質化学	一般選抜A試験	○	○	—	—	—	—
	一般選抜B試験	○	○	—	—	○	—
	社会人特別選抜	○	○	○	—	—	○
	外国人留学生特別選抜	○	○	—	—	—	—
	出身学部等限定特別選抜	○	○	—	—	○	—
機械科学	一般選抜A試験	○	○	—	—	—	—
	一般選抜B試験	○	○	—	—	○	—
	社会人特別選抜	○	○	○	—	—	○
	外国人留学生特別選抜	○	○	—	—	—	—
	出身学部等限定特別選抜 A試験	○	○	—	—	—	—
	出身学部等限定特別選抜 B試験	○	○	—	—	○	—
フロンティア工学	一般選抜A試験	○	○	—	—	—	—
	一般選抜B試験	○	○	—	—	○	—
	社会人特別選抜	○	○	○	—	—	○
	外国人留学生特別選抜	○	○	—	—	—	—
電子情報通信学	一般選抜A試験	○	○	—	—	—	—
	一般選抜B試験	○	○	—	—	○	—
	社会人特別選抜	○	○	○	—	—	○
	外国人留学生特別選抜	○	○	—	—	—	—
地球社会基盤学	一般選抜A試験	○	○	—	—	—	—
	一般選抜B試験	○	○	—	—	○	—
	社会人特別選抜	○	○	○	—	—	○
	外国人留学生特別選抜	○	○	—	—	—	—
	出身学部等限定特別選抜	○	○	○※1	○※1	○※2	—
生命理工学	一般選抜A試験	○	○	—	○	—	—
	一般選抜B試験	○	○	—	—	○	—
	社会人特別選抜	○	○	○	—	—	○
	外国人留学生特別選抜	○	○	—	○	—	—
	出身学部等限定特別選抜	○	○	—	○	○※3	—

注) 出願書類とは別に、選抜試験日にTOEIC等のスコアの提示が必要となる場合がありますので、「IX. 英語外部試験スコア」(17～18ページ)で必ず確認してください。

※1 地球惑星科学コース志願者は提出不要

※2 社会基盤工学コース志願者は提出不要

※3 生物科学コース志願者は提出不要

専攻	選抜	⑧ 受験 許可書 【様式 6】	⑨ 大学院設 置基準第 14条に基 づく教育 方法の特 例の適用 申請につ いて 【様式7】	⑩ 業績 内容 調書 (様式 随意)	⑪ 研究・開 発業務等 の概要 又は 実務経験 の概要 (様式随意)	⑫ 学士の 学位授 与証明 書等	⑬ 国費外 国人留 学生及 び奨学 金延長 予定証 明書 【様式 8】	⑭ パスポ ートの 写し	⑮ 在留カー ドの写し (表・裏)
数物科学	一般選抜A試験	該当者	希望者	—	該当者	該当者	該当者	外国人 の志願 者	日本に 在留す る外国 人
	一般選抜B試験			—					
	社会人特別選抜			○					
	外国人留学生特別選抜			—					
物質化学	一般選抜A試験	該当者	希望者	—	該当者	該当者	該当者	外国人 の志願 者	日本に 在留す る外国 人
	一般選抜B試験			—					
	社会人特別選抜			○					
	外国人留学生特別選抜			—					
	出身学部等限定特別選抜			—					
機械科学	一般選抜A試験	該当者	希望者	—	該当者	該当者	該当者	外国人 の志願 者	日本に 在留す る外国 人
	一般選抜B試験			—					
	社会人特別選抜			○					
	外国人留学生特別選抜			—					
	出身学部等限定特別選抜 A試験			—					
	出身学部等限定特別選抜 B試験			—					
フロンテ ィア工学	一般選抜A試験	該当者	希望者	—	該当者	該当者	該当者	外国人 の志願 者	日本に 在留す る外国 人
	一般選抜B試験			—					
	社会人特別選抜			○					
	外国人留学生特別選抜			—					
電子情報 通信学	一般選抜A試験	該当者	希望者	—	該当者	該当者	該当者	外国人 の志願 者	日本に 在留す る外国 人
	一般選抜B試験			—					
	社会人特別選抜			○					
	外国人留学生特別選抜			—					
地球社会 基盤学	一般選抜A試験	該当者	希望者	—	該当者	該当者	該当者	外国人 の志願 者	日本に 在留す る外国 人
	一般選抜B試験			—					
	社会人特別選抜			○					
	外国人留学生特別選抜			—					
	出身学部等限定特別選抜			—					
生命理工 学	一般選抜A試験	該当者	希望者	—	該当者	該当者	該当者	外国人 の志願 者	日本に 在留す る外国 人
	一般選抜B試験			—					
	社会人特別選抜			○					
	外国人留学生特別選抜			—					
	出身学部等限定特別選抜			—					

注)出願書類とは別に、選抜試験日にTOEIC等のスコアの提示が必要となる場合がありますので、「IX. 英語外部試験スコア」(17～18ページ)で必ず確認してください。

VIII. 試験場

専 攻	試 験 場
数 物 科 学 専 攻 物 質 化 学 専 攻 機 械 科 学 専 攻 フロンティア工学専攻 電 子 情 報 通 信 学 専 攻 地 球 社 会 基 盤 学 専 攻 生 命 理 工 学 専 攻	金沢大学自然科学試験場(金沢市角間町)

IX. 英語外部試験スコア

専攻、選抜によっては、英語の筆記試験を行わず、英語外部試験 (TOEIC, TOEFL, IELTS) のスコアを利用します。

英語外部試験のスコアは、出願期間中に他の出願書類とあわせて提出するのではなく、**選抜試験1日目に持参し提示してください。提示しない場合は失格となります。**提示されたオリジナルのスコアは、確認後に返却します。

◆利用できるスコアについて

英語外部試験	摘 要	共通事項
TOEIC	<ul style="list-style-type: none"> TOEIC L&Rのみ可。 カレッジ TOEIC(TOEIC IP), TOEIC S&W, TOEIC Bridge は不可。 	<ul style="list-style-type: none"> スコアは、公式の成績証明書類のオリジナル(郵送されたスコア) , 又はデジタル公式認定証 (QRコード付き) を印刷したもの (※TOEICのみ) を提示してください。(コピー不可。インターネット上のスコア確認画面等を印刷したものは認めません。) スコアに顔写真が掲載されていないものは不可。 スコアの有効期限は、本研究科の選抜試験日から過去2年以内に受験したものとします。 タイプの異なる複数の試験のスコアの提示も可能です。 <p>(注) デジタル公式認定証 (QRコード付き) を印刷したものを提示する場合は、印刷が鮮明であることが必要です。QRコードが確実に読み込めることを、必ず事前に確認してください。</p>
TOEFL	<ul style="list-style-type: none"> TOEFL-iBT(Home Editionを含む), TOEFL-PBTのみ可。TOEFL ITP は不可。 TestDataスコアを利用します。MyBestスコアは利用しません。 	
IELTS	—	

◆英語外部試験を利用する専攻，選抜は以下のとおりです。○のついた試験から選択してください。

専攻		選抜	英語外部試験		
			TOEIC	TOEFL	IELTS
数物科学専攻		一般選抜A試験	○	○	—
		一般選抜B試験	○	○	—
		社会人特別選抜	○	○	—
		外国人留学生特別選抜	○	○	○
物質化学専攻	化学コース	一般選抜A試験	○	○	—
		一般選抜B試験	○	○	—
		社会人特別選抜	○	○	—
		出身学部等限定特別選抜	○	○	—
	応用化学コース	一般選抜A試験	○	○	—
		一般選抜B試験	○	○	—
		社会人特別選抜	○	○	—
		外国人留学生特別選抜	○	○	○
		出身学部等限定特別選抜	○	○	—
機械科学専攻		一般選抜A試験	○	○	○
		一般選抜B試験	○	○	○
		社会人特別選抜	○	○	○
		外国人留学生特別選抜	○	○	○
		出身学部等限定特別選抜	○	○	○
フロンティア工学専攻		一般選抜A試験	○	○	○
		一般選抜B試験	○	○	○
		社会人特別選抜	○	○	○
		外国人留学生特別選抜	○	○	○
電子情報通信学専攻		一般選抜A試験	○	○	○
		一般選抜B試験	○	○	—
		社会人特別選抜	○	○	—
		外国人留学生特別選抜	○	○	○
地球社会基盤学専攻	地球惑星科学コース	一般選抜A試験	○	○	○
		一般選抜B試験	○	○	○
		社会人特別選抜	○	○	○
		外国人留学生特別選抜	○	○	○
		出身学部等限定特別選抜	○	○	○
	社会基盤工学コース	一般選抜A試験	○	○	○
		一般選抜B試験	○	○	○
		社会人特別選抜	○	○	○
		外国人留学生特別選抜	○	○	○
		出身学部等限定特別選抜	○	○	○
生命理工学専攻		一般選抜A試験	○	○	○
		一般選抜B試験	○	○	○
		社会人特別選抜	○	○	○
		外国人留学生特別選抜	○	○	○
		出身学部等限定特別選抜	○	○	○

X. 合格者発表

令和7年8月29日(金)15時頃

合格者の受験番号を自然科学本館において掲示するとともに、金沢大学大学院自然科学研究科Webサイト及び「オンライン合否照会システム」において発表します。

合格通知書が必要な場合は「オンライン合否照会システム」からダウンロードしてください（合格通知書は送付しません）。

また、合格者は、自然科学研究科長あて「入学確約書」（様式は、合格者発表と同じWebサイトに掲載）を理工系事務部学生課入試係までメールで提出してください。

金沢大学大学院自然科学研究科Webサイト

<https://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/admission/index.html>

オンライン合否照会システム

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/goukakusyahappyou>

XI. 一般選抜

この選抜は、「学力検査（筆記試験、口述試験又は口述試験(プレゼンテーションを含む)※1、英語外部試験スコア評価）」及び「学業成績証明書」に基づいて行う**A試験**と、「口述試験及び英語外部試験スコア評価」を先に行い、成績優秀者には「筆記試験又はプレゼンテーション※2」を免除する**B試験**があります。

※1 口述試験(プレゼンテーションを含む)は、生命理工学専攻のみ実施します。

※2 プレゼンテーション免除となるのは、生命理工学専攻です。

※ 数物科学専攻に、金沢大学理工学域数物科学類以外の出身の者が志願する場合には、外国人留学生特別選抜、社会人特別選抜に該当を確認した上で、適切な選抜に出願してください。

※ 機械科学専攻に、金沢大学理工学域機械工学類以外の出身の者が志願する場合には、出身学部等限定特別選抜、外国人留学生特別選抜、社会人特別選抜に該当を確認した上で、適切な選抜に出願してください。なお、出身学部等限定特別選抜の出願条件は一般選抜と同一となります。

〔A試験〕

1. 選抜方法(試験科目, 試験日時)

選抜は、学力検査及び学業成績証明書を総合して行います。

1) 試験科目

専攻		試験科目			
		外国語	基礎科目	専門科目	口述試験
数物科学専攻	数学コース	英語 ※1	—	数学(微分積分・線形代数・集合と位相・複素関数論)	有
	物理学コース	英語 ※1		物理学	
	計算科学コース	英語 ※1		数学(微分積分, 線形代数の基礎と応用)から4問以上, 基礎物理(力学, 電磁気学, 量子力学, 熱統計力学の基本的問題)から4問以上, 計算機(プログラミング, 数値計算の基礎)から2問, それぞれ出題されるので, 3分野の中から2分野以上の問題4問を選択すること。	
物質化学専攻	化学コース	英語 ※1	—	化学〔科目群A(理論化学, 無機・錯体化学, 有機化学)および, 科目群B(分析化学, 放射・核地球化学, 生物化学)の6科目のうち, 4科目を選択する。ただし, そのうち少なくとも2科目は科目群Aから選択する。〕	有
	応用化学コース			①化学英語 [1問出題] ②専門化学(物理化学, 無機化学, 分析化学, 有機化学, 高分子化学) [7問出題] ①は必須科目であり, ②から5問を選択すること	
機械科学専攻		英語 ※1	数学	①材料力学②振動工学③流れ学④熱力学の4科目を全て受験すること。なお, 得点上位の3科目を採用する。	有
フロンティア工学専攻		英語 ※1	数学	志願者調書のコース・系欄に記載した系が指定する科目を選択すること。 (a) 機械工学系: ①材料力学, ②振動工学, ③流れ学, ④熱力学 以上4科目のうち3科目を選択すること。 (b) 化学工学系: ①プロセス工学量論(化学工学量論, 単位操作), ②移動現象論(流体工学, 伝熱工学), ③化学反応速度論・反応工学, ④化学工学熱力学・物理化学 以上4科目のうち3科目を選択すること。 (c) 電子情報工学系: ①電気回路, ②電子回路, ③論理回路 以上3科目を全て受験すること。	有

専攻		試験科目			
		外国語	基礎科目	専門科目	口述試験
電子情報通信学専攻		英語 ※1	数学	①電気回路 (RLC集中定数回路網の定常解析) ②電子回路 ③電気磁気学 (静電界, 静磁界, 電磁誘導) ④情報理論 ⑤アルゴリズムとデータ構造 ⑥論理回路 以上の6科目のうち3科目を選択すること。	有
地球社会基盤学専攻	地球惑星科学コース	英語 ※1	—	地学	有
	社会基盤工学コース	英語 ※1	数学	①構造力学 ②水理学 ③土質力学 ④計画数理学 ⑤環境工学 以上5科目のうち3科目を選択すること。	
生命理工学専攻	生物科学コース	英語 ※1	—	—	有 (プレゼンテーションを含む) ※2
	バイオ工学コース				有 (プレゼンテーションを含む) ※3

※1 「英語」の試験科目については、「IX. 英語外部試験スコア」(17～18ページ)を参照してください。

※2 現在の卒業研究,あるいはそれと関連した国内外の研究例のレビュー,または配属希望研究室の分野に関する研究のレビューについてのプレゼンテーションを求めます。時間は15分(発表7分・質疑応答8分)とします。持込みのパソコンによる発表とし,その後,質疑応答を行います。質疑応答では,発表内容に加えて,生物学の一般的知識も問います。

※3 現在の卒業研究,あるいはそれと関連した国内外の研究例のレビュー,または配属希望研究室の分野に関する研究のレビューについてのプレゼンテーションを求めます。時間は10分(発表5分・質疑応答5分)とします。持込みのパソコンによる発表とし,その後,質疑応答を行います。

2) 試験日時

専 攻		試 験 日	時 間	試験科目
数物科学 専攻	数 学 コ ー ス	令和7年8月19日(火)	9時 ~ 12時	数 学
			15時 ~	口述試験
	物 理 学 コ ー ス		9時 ~ 12時	物 理 学
			15時 ~	口述試験
	計 算 科 学 コ ー ス		9時 ~ 12時	専門科目
			15時 ~	口述試験
物質化学 専攻	化 学 コ ー ス	9時 ~ 12時	化 学	
		15時 ~	口述試験	
	応 用 化 学 コ ー ス	9時 ~ 12時	専門科目	
		15時 ~	口述試験	
機 械 科 学 専 攻		令和7年8月19日(火)	9時 ~ 10時	数 学
			13時 ~ 16時	専門科目
		令和7年8月20日(水)	13時 ~	口述試験
フロンティア工学専攻		令和7年8月19日(火)	9時 ~ 10時	数 学
			13時 ~ 15時	専門科目
		令和7年8月20日(水)	13時 ~	口述試験
電 子 情 報 通 信 学 専 攻		令和7年8月19日(火)	9時 ~ 10時	数 学
			13時 ~ 15時	専門科目
		令和7年8月20日(水)	13時 ~	口述試験
地球社会基 盤学専攻	地球惑星科学コース	令和7年8月19日(火)	9時 ~ 11時	地 学
			13時 ~	口述試験
	社会基盤工学コース		9時 ~ 10時	数 学
			13時 ~ 16時	専門科目
生命理工学 専攻	生物科学コース	13時 ~	口述試験 (プレゼンテ ーションを 含む)	
	バイオ工学コース			

[B試験]

B試験の募集専攻及び募集人員

専攻	募集人員※
数物科学専攻	一般選抜募集人員の50%程度
物質化学専攻	
機械科学専攻	一般選抜募集人員の65%程度
フロンティア工学専攻	
電子情報通信学専攻	一般選抜募集人員の50%程度
地球社会基盤学専攻	一般選抜募集人員の65%程度
生命理工学専攻	

※一般選抜募集人員の内数

1. 出願条件

下記の(1)又は(2)の者で、(3)、(4)及び(5)の要件を満たし、事前の書類選考等で成績優秀と認められたもののみが受験できます。

なお、B試験による選抜を希望する場合には、令和7年5月26日(月)までに必ず志望する専攻の専攻長又はコース長(34～35ページ参照)に申し出てください。

※研究指導を希望する教員に事前に連絡をして研究内容を相談した上で、令和7年5月26日(月)までに専攻長又はコース長に申し出てください。

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を令和7年9月30日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により令和7年9月30日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 学業成績・人物ともに優れた者
 - 数物科学専攻
(数学コース)
 - …選択している発展プログラム内等(コース内、学科内等)での成績順位がおおむね上位1/5以内の者。成績順位が算出できない場合には、専門科目の成績は、修得単位の2/3以上が最上位の評語(点数評価にして80%点相当以上)で評価されていることを原則とする。
(物理学コース・計算科学コース)
 - …選択している発展プログラム内等(コース内、学科内等)での成績順位がおおむね上位1/4以内の者。成績順位が算出できない場合には、専門科目の成績は、修得単位の2/3以上が最上位の評語(点数評価にして80%点相当以上)で評価されていることを原則とする。
 - 物質化学専攻
 - …所属学類(コアプログラム)・学科内等での成績順位が上位2/5以内の者。専攻科修了見込みの者については、短期大学又は高等専門学校での所属学科内での成績順位が上位2/5以内の者。ただし、成績順位が算出できない場合には、専門科目の成績は、修得単位の2/3以上が最上位の評語(点数評価にして80点相当以上)で評価されていることを原則とする。
 - 機械科学専攻
 - …所属学類(コース)・学科内等での成績順位が上位1/2以内、または、大学在学中の専門科目において、4を最高としたGPA^(※)が2.5以上の者。専攻科修了見込みの者については、短期大学又は高等専門学校での所属学科・専攻内での成績順位が上位1/2以内の者。GPAを採用していない、あるいは学業成績証明書にGPAが記載されていない大学の場合は、専門科目の成績において、修得単位の2/3以上が最上位の評語(点数評価にして80点相当以上)で評価されている者。
 - フロンティア工学専攻
 - …大学在学中の専門科目の4を最高としたGPA^(※)が2.8以上の者。専攻科修了見込みの者については、短期大学又は高等専門学校での所属学科・専攻内での成績順位が上位1/3以内の者。GPAを採用していない、あるいは学業成績証明書にGPAが記載されていない大学の場合は、専門科目の成績において、修得単位の2/3以上が最上位の評語(点数評価にして80点相当以上)で評価されている者。

●電子情報通信学専攻

…大学在学中の専門科目の4を最高としたGPA^(※)が2.8以上の者。令和7年9月30日までに卒業見込みの者は、1年次から3年次までの専門科目の4を最高としたGPAが2.8以上の者。GPAを採用していない、あるいは学業成績証明書にGPAが記載されていない大学の場合、専門科目の成績において、修得単位の2/3以上が最上位の評語(点数評価にして80点相当以上)で評価されている者。

●地球社会基盤学専攻

…大学在学中の専門科目の4を最高としたGPA^(※)が2.5以上の者。令和7年9月30日までに卒業見込みの者は、専門科目の4を最高としたGPAが2.5以上の者。GPAを採用していない、あるいは学業成績証明書にGPAが記載されていない大学の場合、所属学科内での専門科目の成績をGPAに換算する。

●生命理工学専攻(生物科学コース)

…所属学類(コース)・学科内等での成績順位が上位1/2以内、または、大学在学中の4を最高としたGPA^(※)が2.5以上の者。令和7年9月30日までに卒業見込みの者は、1年次から3年次までの所属学類(コース)・学科内等での成績順位が上位1/2以内、または、4を最高としたGPAが2.5以上の者。GPA及び成績順位が算出できない場合、専門科目の成績において、修得単位の60%以上が最上位の評語(点数評価にして80点相当以上)で評価されている者。

●生命理工学専攻(バイオ工学コース)

…所属学類(コース)・学科内等での成績順位が上位65%以内、または、大学在学中の専門科目の4を最高としたGPAが2.5以上の者。GPAを採用していない、あるいは学業成績証明書にGPAが記載されていない大学の場合、所属学科内での専門科目の成績をGPAに換算する。

(4) 合格した場合、入学を確約できる者(所定の期日までに入学確約書の提出を要す)

(5) 電子情報通信学専攻を志望する者は電気・電子・情報・通信系、地球社会基盤学専攻社会基盤工学コースを志願する者は土木系の出身者であること

※ GPAは金沢大学履修規程に定める方法に準じて算出する。

2. 選抜方法(試験科目, 試験日時)

選抜は、学力検査、学業成績証明書及び推薦書・意見書(数物科学専攻のみ)を総合して行います。成績優秀者には「筆記試験又はプレゼンテーション」を免除します。

専攻	試験日時	試験科目
数物科学専攻 物質化学専攻 機械科学専攻 フロンティア工学専攻 電子情報通信学専攻 地球社会基盤学専攻 生命理工学専攻	令和7年7月5日(土) 13時～	英語 TOEIC等のスコアで評価します。専攻により利用できる英語外部試験が異なりますので、「IX. 英語外部試験スコア」(17～18ページ)を参照してください。 口述試験 主として提出された自己申告書の内容及び専門基礎学力に関連した質疑を行います。

注1. **試験の結果による「筆記試験」の免除の可否は、令和7年7月24日(木)15時頃に金沢大学大学院自然科学研究科Webサイトにおいて発表します。筆記試験免除者は令和7年8月1日(金)までに自然科学研究科長あて『入学確約書』(様式は、筆記試験免除可否と同じWebサイトに掲載)を理工系事務部学生課入試係までメールで提出してください。**

金沢大学大学院自然科学研究科Webサイト

<https://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/admission/index.html>

また、筆記試験又はプレゼンテーション免除不許可者は、令和7年8月19日(火)・20日(水)に実施される試験を受験してください。

注2. 試験に関して不明な点があれば志望専攻の専攻長又はコース長(34～35ページ参照)まで直接問い合わせてください。

XII. 社会人特別選抜

1. 出願条件等

趣旨：科学技術の急速な変革，学際化，総合化に柔軟に対応できる人材の育成の一環として，地域社会・産官学から社会人のリフレッシュ教育・生涯教育の場が求められています。このような社会的要請に応えるために，教育研究機関，官公庁，企業等で開発・研究に携わっている又は携わってきた社会人を受入れ，高度な研究能力の活性化，知識・技術の習得を目的として，一般の志願者とは異なる社会人特別選抜を実施します。

出願条件：教育研究機関，官公庁，企業等に出願時に在職している者，又は，入学時に教育研究機関，官公庁，企業等において，3年以上の専門的な実務経験(通算可)を有する者で，IV. 出願資格(9～10ページ)の該当選抜欄に●のある号のいずれかに該当するものとします。

なお，志願者は，令和7年5月26日(月)までに志望する専攻の専攻長又はコース長(34～35ページ参照)に必ず申し出てください。

※研究指導を希望する教員に事前に連絡をして研究内容を相談した上で，令和7年5月26日(月)までに専攻長又はコース長に申し出てください。

2. 選抜方法(試験科目，試験日時)

選抜は，学力検査及び出願書類を総合して行います。

専攻		試験日	時間	試験科目
数物科学専攻		令和7年8月19日(火)	-	英語 ※1
			15時～	口述試験
物質化学専攻			-	英語 ※1
			15時～	口述試験
機械科学専攻			-	英語 ※1
			13時～	口述試験
フロンティア工学専攻			-	英語 ※1
			13時～	口述試験
電子情報通信学専攻			-	英語 ※1
			13時～	口述試験
地球社会基盤学専攻	地球惑星科学コース		-	英語 ※1
			13時～	口述試験
	社会基盤工学コース		-	英語 ※1
			10時30分～	口述試験
生命理工学専攻 ※2	生物科学コース	-	英語 ※1	
		13時～	口述試験	
	バイオ工学コース	-	英語 ※1	
		13時～	口述試験	

※1 「英語」の試験科目については，「IX. 英語外部試験スコア」(17～18ページ)を参照してください。

※2 生命理工学専攻の口述試験は，現在(過去)の研究テーマもしくは，興味を持つ研究テーマについてプレゼンテーションを求めます。時間は10分とします。持込みのパソコンによる発表とします。その後，質疑応答を行います。

XIII. 外国人留学生特別選抜

1. 出願条件

日本の国籍を有しない者で、IV. 出願資格(9～10ページ)の該当選抜欄に●のある号のいずれかに該当するものとします。なお、以下の者については出願できません。

- 機械科学専攻：本学理工学域を卒業見込みの者及び卒業した者
- フロンティア工学専攻：本学理工学域を卒業見込みの者及び卒業した者
- 電子情報通信学専攻：本学電子情報学類を卒業見込みの者及び卒業した者
本学電子情報通信学類を卒業見込みの者及び卒業した者
- 地球社会基盤学専攻：本学地球社会基盤学類を卒業見込みの者及び卒業した者
- 生命理工学専攻：本学生命理工学類，電子情報通信学類，自然システム学類，電子情報学類のいずれかを卒業見込みの者及び卒業した者

志願者は、令和7年5月26日(月)までに志望する専攻の専攻長又はコース長(34～35ページ参照)に必ず申し出てください。

※研究指導を希望する教員に事前に連絡をして研究内容を相談した上で、令和7年5月26日(月)までに専攻長又はコース長に申し出てください。

2. 選抜方法(試験科目，試験日時)

選抜は、学力検査及び出願書類を総合して行います。

専攻		試験日	時間	試験科目
数物科学専攻	数学コース	令和7年8月19日(火)	-	英語 ※1
			9時～12時	数学
			15時～	口述試験 ※3
	物理学コース		-	英語 ※1
			9時～12時	物理学 ※2
			15時～	口述試験 ※3, ※8
計算科学コース	-	英語 ※1		
	9時～12時	専門科目 ※2		
	15時～	口述試験 ※3, ※9		
物質化学専攻	化学コース	9時～12時	化学・英語 ※2, ※4	
		15時～	口述試験	
	応用化学コース	-	英語 ※1	
		9時～12時	専門科目 ※2	
15時～	口述試験 ※2			
機械科学専攻		令和7年8月19日(火)	-	英語 ※1
			9時～10時	数学 ※2
			13時～16時	専門科目 ※2
		令和7年8月20日(水)	13時～	口述試験 ※2, ※6
フロンティア工学専攻		令和7年8月19日(火)	-	英語 ※1
			9時～10時	数学
			13時～15時	専門科目 ※2
		令和7年8月20日(水)	13時～	口述試験 ※2
電子情報通信学専攻		令和7年8月19日(火)	-	英語 ※1
			9時～10時	数学
		令和7年8月20日(水)	13時～	口述試験 ※10

専 攻		試 験 日	時 間	試 験 科 目
地球社会基盤 学専攻	地球惑星科学コース	令和7年8月19日(火)	-	英 語 ※1
			9時 ~ 11時	地 学 ※2
			13時 ~	口述試験
	社会基盤工学コース		-	英 語 ※1
			9時 ~ 10時	数 学 ※2
			10時30分 ~	口述試験 ※11
生命理工学 専攻 ※5	生物科学コース	-	英 語 ※1	
		13時 ~	口述試験 ※7	
	バイオ工学コース	-	英 語 ※1	
		13時 ~	口述試験 ※7	

※1 「英語」の試験科目については、「IX. 英語外部試験スコア」(17~18ページ)を参照してください。

英語を母語とする等の志願者については、「英語」の試験科目を免除することがありますので、令和7年5月26日(月)までに志望する専攻の専攻長又はコース長(34~35ページ参照)もしくは希望指導教員と連絡を取ってください。

※2 試験科目の全部または一部を免除することがあります。試験時に課す試験科目は、受験票出力可能日に通知します。

※3 数物科学専攻の口述試験は、英語で行うことがあります。

※4 化学の試験問題を英文で出題します。

※5 生命理工学専攻の試験は、原則として英語で実施します。

※6 機械科学専攻の数学及び専門科目を免除された者は、口述試験で免除された科目の能力を評価します。

※7 現在(過去)の研究テーマもしくは、興味を持つ研究テーマについてプレゼンテーションを求めます。時間は10分とします。持込みのパソコンによる発表とします。その後、質疑応答を行います。

※8 数物科学専攻物理学コースの物理学を免除された者は、口述試験で物理学の能力を評価します。

※9 海外在住者へは、インターネット等による遠隔試験を認める場合があります。

※10 電子情報通信学専攻の口述試験では、本専攻の志望動機、希望する研究分野等について問う他、専門科目に関する問題を出題します(①電気回路、②電気磁気学、③情報基礎、④計算機基礎から2科目選択)。

※11 口述試験において、専門科目に関する口頭試問を行います。専門科目の試験内容は、受験票出力可能日に通知します。

XIV. 出身学部等限定特別選抜

この特別選抜は、志望する専攻(コース)に応じて、出願条件・選抜方法等が異なります。

詳細は各専攻(コース)の記載欄を参照してください。なお、志願者は、研究指導を希望する教員に事前に連絡をして研究内容を相談した上で、令和7年5月26日(月)までに必ず志望する専攻の専攻長又はコース長(34～35ページ参照)に申し出てください。

《 i. 物質化学専攻（化学コース） 》

1. 出願条件等

趣旨：物質化学専攻(化学コース)では、広く人材を求めするため、一般の志願者と異なる特別選抜を実施します。

出願条件：金沢大学理工学域物質化学類および金沢大学理学部化学科以外の出身で、IV. 出願資格(9～10ページ)の該当選抜欄に●のある号のいずれかに該当する者で、合格した場合、入学を確約できるものとします。(所定の期日までに入学確約書の提出を求めます)

2. 選抜方法(試験科目, 試験日時)

選抜は、学力検査及び学業成績証明書を総合して行います。

試験日	時間	試験科目
令和7年7月5日(土)	-	英語 ※1
	13時～	口述試験 ※2

※1 英語については、「IX. 英語外部試験スコア」(17～18ページ)を参照してください。

※2 卒業研究又は大学院で希望する研究についてプレゼンテーションと口頭試問を行います。

注) 試験の結果による「筆記試験」の免除の可否は、令和7年7月24日(木)15時頃に金沢大学大学院自然科学研究科Webサイトにおいて発表します。筆記試験免除者は令和7年8月1日(金)までに自然科学研究科長あて『入学確約書』(様式は、筆記試験免除可否と同じWebサイトに掲載)を理工系事務部学生課入試係までメールで提出してください。

金沢大学大学院自然科学研究科Webサイト

<https://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/admission/index.html>

筆記試験免除にならなかった場合にのみ実施

試験日	時間	試験科目
令和7年8月19日(火)	-	英語 ※1
	9時～12時	20ページ 物質化学専攻 (化学コース) 試験科目と同じ
	15時～	口述試験

※1 英語については、「IX. 英語外部試験スコア」(17～18ページ)を参照してください。

《 ii. 物質化学専攻（応用化学コース） 》

1. 出願条件等

趣旨：物質化学専攻(応用化学コース)では、社会の基幹で応用化学のエキスパート、更にはパイオニアとして活躍する意欲のあるバイタリティー溢れる学生を受入れて研究・教育を行うことを目的として、広く人材を求めために、一般の志願者とは異なる特別選抜を実施します。

出願条件：金沢大学理工学域物質化学類および金沢大学工学部物質化学工学科以外の出身で、化学を中心としたカリキュラムを学び(注)、IV. 出願資格(9～10ページ)の該当選抜欄に●のある号のいずれかに該当する者で、合格した場合、入学を確約できるものとします。

注) 履修内容を事前に確認しますので、志願者は令和7年5月26日(月)までのなるべく早い時期に物質化学専攻応用化学コース長(34ページ参照)に連絡を取ってください。履修内容の確認に必要な書類等について通知します。

2. 選抜方法(試験科目, 試験日時)

選抜は, 学力検査及び学業成績証明書を総合して行います。成績優秀者には「筆記試験」を免除します。

試験日	時間	試験科目
令和7年7月5日(土)	-	英語 ※1
	13時 ~	口述試験 ※2

※1 英語については, 「IX. 英語外部試験スコア」(17~18ページ)を参照してください。

※2 卒業研究又は大学院で希望する研究についてプレゼンテーションと口頭試問を行います。

注) 試験の結果による「筆記試験」の免除の可否は, 令和7年7月24日(木)15時頃に金沢大学大学院自然科学研究科Webサイトにおいて発表します。筆記試験免除者は令和7年8月1日(金)までに自然科学研究科長あて『入学確約書』(様式は, 筆記試験免除可否と同じWebサイトに掲載)を理工系事務部学生課入試係までメールで提出してください。

金沢大学大学院自然科学研究科Webサイト

<https://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/admission/index.html>

筆記試験免除にならなかった場合のみ実施

試験日	時間	試験科目
令和7年8月19日(火)	-	英語 ※1
	9時 ~ 12時	20ページ 物質化学専攻 (応用化学コース) 試験科目と同じ
	15時 ~	口述試験

※1 英語については, 「IX. 英語外部試験スコア」(17~18ページ)を参照してください。

《 iii. 機械科学専攻 》

1. 出願条件等

趣旨: 機械科学専攻では, 広く人材を求めため, 特別選抜を実施します。

出願条件: **金沢大学理工学域機械工学類以外の出身で, IV. 出願資格(9~10ページ)の該当選抜欄に●のある号のいずれかに該当する者で, 合格した場合, 入学を確約できるものとします。**

(所定の期日までに入学確約書の提出を求めます)なお, 金沢大学理工学域機械工学類以外の出身者は, 出身学部等限定特別選抜, 外国人留学生特別選抜(26ページ), 社会人特別選抜(25ページ)のうち, 各該当する選抜へ出願することを推奨します。金沢大学理工学域機械工学類以外の出身者が, 一般選抜に出願することは可能ですが, その場合にも, 出願前に機械科学専攻長に連絡が必要です。

2. 選抜方法(試験科目, 試験日時)

この選抜は, 「学力検査(筆記試験, 口述試験又は口述試験, 英語外部試験スコア評価)」及び「学業成績証明書」に基づいて行う**A試験**と, 「口述試験及び英語外部試験スコア評価」を先に行い, 成績優秀者には「筆記試験」を免除する**B試験**があります。出願条件, 日程等の詳細は, 19ページの一般選抜に準じます。

《 iv. 地球社会基盤学専攻(地球惑星科学コース) 》

1. 出願条件等

趣旨: 地球社会基盤学専攻(地球惑星科学コース)では, 地球科学及び環境学を中心とする教育・研究を行っていますが, 学問の対象は, 多岐にわたります。また, 地球科学及び環境学分野の教育も, 教育機関により異なった特徴があります。このため, 地球科学及び環境学以外の分野ならびに異なった特徴をもつ地球科学等の分野を履修した者から, 広く優秀な人材を求めため, 一般の志願者とは異なる特別選抜を実施します。

出願条件: **金沢大学理工学域地球社会基盤学類(地球惑星科学コース), 金沢大学理工学域自然システム学類(地球学コース)及び金沢大学理学部地球学科以外の出身で, IV. 出願資格(9~10ペ**

一ジ)の該当選抜欄に●のある号のいずれかに該当する者とします。

また、次の①～③のいずれかに該当する学業成績・人物ともに優れた者のうち、④の要件を満たす者とします。

- ① 大学在学中の専門科目の4を最高としたGPA^(※)が2.5以上の者。令和7年9月30日までに卒業見込の者は、3年次までの専門科目の4を最高としたGPAが2.5以上の者
 - ② GPAを採用していない、あるいは学業成績証明書にGPAが記載されていない大学の場合、所属学科内での成績順位が上位1/3以内の者、成績順位が算出できない場合には、専門科目の成績において、修得単位の1/2以上が最上位の評語(点数評価にして80点相当以上)で評価されている者。
 - ③ 専攻科修了および修了見込の者については、短期大学もしくは高等専門学校での所属学科内での成績順位が上位1/3以内の者、成績順位が算出できない場合には、専門科目の成績において、修得単位の1/2以上が最上位の評語(点数評価にして80点相当以上)で評価されている者。
 - ④ 合格した場合、入学を確約できる者(所定の期日までに入学確約書の提出を求めます)。
- ※ GPAは金沢大学履修規程に定める方法に準じて算出する。

2. 選抜方法(試験科目, 試験日時)

選抜は、学力検査及び学業成績証明書を総合して行います。成績優秀者には「筆記試験」を免除します。

試験日	時間	試験科目
令和7年7月5日(土)	-	英語 ※1
	13時 ~	口述試験 ※2

※1 英語については、「IX. 英語外部試験スコア」(17~18ページ)を参照してください。

※2 卒業研究又は大学院で希望する研究についてプレゼンテーションと口頭試問を行います。

注) 試験の結果による「筆記試験」の免除の可否は、令和7年7月24日(木)15時頃に金沢大学大学院自然科学研究科Webサイトにおいて発表します。筆記試験免除者は令和7年8月1日(金)までに自然科学研究科長あて『入学確約書』(様式は、筆記試験免除可否と同じWebサイトに掲載)を理工系事務部学生課入試係までメールで提出してください。

金沢大学大学院自然科学研究科Webサイト

<https://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/admission/index.html>

筆記試験免除にならなかった場合のみ実施

試験日	時間	試験科目
令和7年8月19日(火)	-	英語 ※1
	9時 ~ 11時	21ページ 地球社会基盤学専攻 (地球惑星科学コース) 試験科目と同じ
	13時 ~	口述試験

※1 英語については、「IX. 英語外部試験スコア」(17~18ページ)を参照してください。

《 v. 地球社会基盤学専攻 (社会基盤工学コース) 》

1. 出願条件等

趣旨：地球社会基盤学専攻(社会基盤工学コース)では、土木工学を主体とする教育・研究を行っていますが、学問の対象が学際領域である場合が多々あります。このため、学部教育を土木系以外の分野において履修した者でも、成績が優秀でかつ社会基盤工学コースにおいて学問を行う明確な方針を持っていれば、十分な成果を上げることができます。そこで広く人材を求めるため、一般の志願者とは異なる特別選抜を実施します。なお、出身学部等によって二つの選抜方法があります。

出願条件：IV. 出願資格(9~10ページ)の該当選抜欄に●のある号のいずれかに該当する者とします。出身学部等によって以下のとおり出願区分が異なります。

(I型) 土木系以外の理工系学部出身者

(Ⅱ型) 理工系以外の学部等出身者

※自身の出身がⅠ型またはⅡ型のいずれに該当するか不明な場合には、地球社会基盤学専攻長(34ページ参照)へ問い合わせてください。

2. 選抜方法(試験科目, 試験日時)

(Ⅰ型)

選抜は、学力検査及び学業成績証明書を総合して行います。

試験日	時間	試験科目
令和7年8月19日(火)	-	英語 ※1
	9時 ~ 10時	数学
	10時30分 ~	口述試験 ※2

※1 英語については、「IX. 英語外部試験スコア」(17~18ページ)を参照してください。

※2 口述試験において、専門科目に関する口頭試問と、卒業研究または大学院で希望する研究に関するプレゼンテーションを行います。専門科目の試験内容等については、受験票出力可能日までに通知します。

(Ⅱ型)

選抜は、学力検査、学業成績証明書及び推薦書・意見書を総合して行います。

試験日	時間	試験科目
令和7年8月19日(火)	-	英語 ※1
	10時30分 ~	口述試験 ※2

※1 英語については、「IX. 英語外部試験スコア」(17~18ページ)を参照してください。

※2 口述試験において、専門科目に関する口頭試問と、卒業研究または大学院で希望する研究に関するプレゼンテーションを行います。専門科目の試験内容等については、受験票出力可能日までに通知します。

《 vi. 生命理工学専攻(生物科学コース) 》

1. 出願条件等

趣旨：生命理工学専攻(生物科学コース)では、広く人材を求めため、一般の志願者とは異なる特別選抜を実施します。

出願条件：**金沢大学理工学域生命理工学類(生命システムコース及び海洋生物資源コース)及び金沢大学理工学域自然システム学類(生物学コース)以外の出身で、IV. 出願資格(9~10ページ)の該当選抜欄に●のある号のいずれかに該当する者とします。**

また、次の①~③のいずれかに該当する学業成績・人物ともに優れた者のうち、④の要件を満たす者とします。

- ① 大学在学中の専門科目の4を最高としたGPA^(※)が2.5以上の者。令和7年9月30日に卒業見込の者は、3年次までの専門科目の4を最高としたGPAが2.5以上の者
- ② GPAを採用していない、あるいは学業成績証明書にGPAが記載されていない大学の場合、所属学科内での成績順位が上位1/3以内の者、成績順位が算出できない場合には、専門科目の成績において、修得単位の1/2以上が最上位の評語(点数評価にして80点相当以上)で評価されている者。
- ③ 専攻科修了および修了見込の者については、短期大学もしくは高等専門学校での所属学科内での成績順位が上位1/3以内の者、成績順位が算出できない場合には、専門科目の成績において、修得単位の1/2以上が最上位の評語(点数評価にして80点相当以上)で評価されている者。
- ④ 合格した場合、入学を確約できる者(所定の期日までに入学確約書の提出を求めます)。

※ GPAは金沢大学履修規程に定める方法に準じて算出する。

2. 選抜方法(試験科目, 試験日時)

試験日	時間	試験科目
令和7年8月19日(火)	-	英語 ※1
	13時 ~	口述試験 ※2

※1 英語については、「IX. 英語外部試験スコア」(17~18ページ)を参照してください。

※2 現在(過去)の研究テーマもしくは、興味を持つ研究テーマについてプレゼンテーションを求めます。時間は10分とします。持込みのパソコンによる発表とします。その後、質疑応答を行います。

《vii. 生命理工学専攻(バイオ工学コース)》

1. 出願条件等

趣旨：生命理工学専攻(バイオ工学コース)では、複雑な生命現象の理解のもと、生物が持つ優れた機能を工学的に活用して食品・医療・環境などへの応用を目指した、学際的な研究・開発を行っています。本コースの学際的な性格を鑑みて関連学問分野から広く人材を求めめるため、一般の志願者とは異なる特別選抜を実施します。

出願条件：**金沢大学理工学域生命理工学類(バイオ工学コース)以外の出身で、以下の条件を満たし、IV. 出願資格(9~10ページ)の該当選抜欄に●のある号のいずれかに該当する者として**

次の①~③のいずれかに該当する学業成績・人物ともに優れた者のうち、④の要件を満たす者。

- ① 大学在学中の4を最高としたGPA^(※)が2.5以上の者、令和7年9月30日に卒業見込みの者は、1年次から3年次までの4を最高としたGPAが2.5以上の者。
 - ② GPAを採用していない、あるいは学業成績証明書にGPAが記載されていない大学の場合、所属学科内での成績順位が上位1/3以内の者、成績順位が算出できない場合には、専門科目の成績において修得単位の1/2以上が最上位の評語(点数評価にして80点相当以上)で評価されている者。
 - ③ 専攻科修了見込みの者については、短期大学もしくは高等専門学校での所属学科内での成績順位が上位1/3以内の者。成績順位が算出できない場合には、専門科目の成績において修得単位の1/2以上が最上位の評語(点数評価にして80点相当以上)で評価されている者。
 - ④ 合格した場合、入学を確約できる者(所定の期日までに入学確約書の提出を求めます)。
- ※ GPAは金沢大学履修規程に定める方法に準じて算出する。

2. 選抜方法(試験科目, 試験日時)

選抜は、学力検査及び学業成績証明書を総合して行います。成績優秀者には「プレゼンテーション」を免除します。

試験日	時間	試験科目
令和7年7月5日(土)	-	英語 ※1
	13時 ~	口述試験 ※2

※1 英語については、「IX. 英語外部試験スコア」(17~18ページ)を参照してください。

※2 卒業研究又は大学院で希望する研究についてプレゼンテーションと口頭試問を行います。

注) 試験の結果による「プレゼンテーション」の免除の可否は、令和7年7月24日(木)15時頃に金沢大学大学院自然科学研究科Webサイトにおいて発表します。プレゼンテーション免除者は令和7年8月1日(金)までに自然科学研究科長あて『入学確約書』(様式は、筆記試験免除可否と同じWebサイトに掲載)を理工系事務部学生課入試係までメールで提出してください。

金沢大学大学院自然科学研究科Webサイト

<https://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/admission/index.html>

プレゼンテーション免除にならなかった場合のみ実施

試験日	時間	試験科目
令和7年8月19日(火)	-	英語 ※1
	13時 ~	口述試験 ※2

※1 英語については、「IX. 英語外部試験スコア」(17~18ページ)を参照してください。

※2 現在の卒業研究，あるいはそれと関連した国内外の研究例のレビュー，または配属希望研究室の分野に関する研究のレビューについてのプレゼンテーションを求めます。時間は10分（発表5分・質疑応答5分）とします。持込みのパソコンによる発表とします。その後，質疑応答を行います。

XV. 共通事項(一般選抜・特別選抜)

1. 身体に障がいのある者等の事前相談

入学志願者で、障がい等があり、受験及び修学に特別な配慮を必要とする者は、出願期間締切日の3日前までに下記の書類を理工系事務部学生課入試係へ提出し、事前に相談してください。

①事前相談書(下記事項及び連絡先(住所・電話番号・メールアドレス)を記載、様式随意)

- ア 氏名、志望専攻名
- イ 障がいの種類・程度
- ウ 受験及び修学に特別な配慮を希望する事項
- エ 大学等でとられていた配慮
- オ 日常生活の状況
- カ その他参考となる事項

②医師の診断書(上記イ、ウ、オに関する項目も記載してください。)

③その他の参考書類(障害者手帳の写し等)

2. 専攻長・コース長への事前連絡

以下の志願者は、出願期間前の令和7年5月26日(月)までに、志望する専攻長又はコース長に申し出る必要がありますので、注意してください。

- ・一般選抜B試験志願者
- ・社会人特別選抜志願者
- ・外国人留学生特別選抜志願者
- ・出身学部等限定特別選抜志願者
- ・(外国人留学生特別選抜で)英語を母語とする等の志願者

※研究指導を希望する教員に事前に連絡をして研究内容を相談した上で、令和7年5月26日(月)までに専攻長又はコース長に申し出てください。

※数物科学専攻に関しては、上記に加えて、金沢大学理工学域数物科学類以外の出身の一般選抜(A試験、B試験ともに)の志願者は、研究指導を希望する教員に事前に連絡し、研究内容や受け入れ可能性について相談した上で、令和7年5月26日(月)までに、数物科学専攻長に申し出てください。

※機械科学専攻に関しては、上記に加えて、金沢大学理工学域機械工学類以外の出身の一般選抜(A試験、B試験ともに)の志願者は、研究指導を希望する教員に事前に連絡し、研究内容や受け入れ可能性について相談した上で、令和7年5月26日(月)までに、機械科学専攻長に申し出てください。

専攻長・コース長及び連絡先

専攻	氏名	連絡先(電話)	備考
数物科学専攻	(専攻長) 教授 大塚 浩史	076-264-5642	ohtsuka@se. kanazawa-u. ac. jp
物質化学専攻 (化学コース)	(コース長) 教授 佐藤 渉	076-264-5689	wsato@se. kanazawa-u. ac. jp
物質化学専攻 (応用化学コース)	(専攻長兼コース長) 教授 前田 勝浩	076-234-4783	maeda@se. kanazawa-u. ac. jp
機械科学専攻	(専攻長) 教授 浅川 直紀	076-234-4734	nasakawa@se. kanazawa-u. ac. jp
フロンティア工学専攻	(専攻長) 教授 立矢 宏	076-234-4689	tachiya@se. kanazawa-u. ac. jp
電子情報通信学専攻	(専攻長) 教授 田中 康規	076-234-4846	ystanaka@staff. kanazawa-u. ac. jp
地球社会基盤学専攻	(専攻長) 教授 大橋 政司	076-234-4608	nyushi-gsce@se. kanazawa-u. ac. jp

生命理工学専攻 (生物学コース)	(専攻長兼コース長) 教授 竹内 裕	076-264-6226	yutaka@se. kanazawa-u. ac. jp
生命理工学専攻 (バイオ工学コース)	(コース長) 教授 高橋 憲司	076-234-4828	ktkenji@staff. kanazawa-u. ac. jp

3. 大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例制度

本研究科では、在職者等必要がある者に対して、大学院での学修を容易とするための「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」制度を設けています。

この制度を利用することで、自然科学研究科規程等に定められた教育課程に基づき、担当指導教員の許可・指導の下で弾力的に学修することができます。

制度の適用を希望する場合は、「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用申請について」【様式7】を出願時に提出してください。また、「志願者調書」【様式1】及び「研究(希望)計画書」【様式5】の所定欄に希望する旨の表示を記入してください。

参考：大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)[抄]

第14条 大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

4. 長期履修制度

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により標準修業年限内での修学の困難な者に対して、標準修業年限を超えて一定の延長期間を加えた期間に、計画的な教育課程の履修を認めるものです。本研究科博士前期課程では、最長4年までの在学期間を認めています。入学時に許可されれば、通常の修業年限(2年)において支払う授業料の総額を、長期履修期間として認められた期間に学期毎に均分して支払うことになります。

長期履修を申し出ることができる者は、次のいずれかに該当する者で、標準修業年限内での修学が困難な事情にあるものです。

- ①有職者
- ②家事、育児、介護等に従事している者
- ③身体障がい、知的障がい、精神障がい(発達障がいを含む)その他心身の機能に障がいがある者

長期履修制度の利用を希望する場合は、「志願者調書」【様式1】及び「研究(希望)計画書」【様式5】の所定欄に希望する旨の表示を記入してください。

注1. 申請方法等は、合格発表日にメールでお知らせします。

注2. 申請しても許可されない場合もありますので、ご承知おきください。

5. 各専攻における注意事項及び配点

数物科学専攻受験者

数物科学専攻は、数学コース、物理学コース及び計算科学コースの3コースからなり、それぞれ学力検査内容が異なるので出願に際し注意してください。志願研究分野は異なるコースをまたがって選んではいけません。

コース及び研究分野の詳細については、 https://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/labp/WebJ_MP.html を参照してください。

一般選抜(筆記試験)科目の配点は以下の通りです。(3コース共通)

- ・英語 100点(TOEICまたはTOEFLのスコアで評価します*)
- ・専門科目 400点

* TOEICの場合は800点、TOEFLの場合は89点(iBTの場合)を満点として、専攻の定めた換算により配点します。なお、TOEICとTOEFLのスコアを同時に提示した場合、専攻の定めた換算により優れた方を採用します。

物質化学専攻受験者

物質化学専攻は、化学コース及び応用化学コースの2コースからなり、それぞれ学力検査内容が異なるので出願に際し注意してください。試験科目は、各選抜の「選抜方法」ページに示されています。受験者は、指定の科目を必ず受験しなければなりません。

専攻の詳細については、 https://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/labp/WebJ_MC.html を参照してください。

一般選抜(筆記試験)科目の配点は以下のとおりです。

『化学コース』

一般選抜(筆記試験)科目の配点について

- ・英語 100点(TOEIC又はTOEFLのスコアで評価します*)
- ・化学 400点

『応用化学コース』

一般選抜(筆記試験)科目の配点について

- ・英語 50点(TOEIC又はTOEFLのスコアで評価します*)
- ・専門科目 300点

* TOEICの場合は800点、TOEFLの場合は89点(iBTの場合)を満点として、専攻の定めた換算により配点します。なお、TOEICとTOEFLのスコアを同時に提示した場合、専攻の定めた換算により優れた方を採用します。(化学コース、応用化学コース共通)

機械科学専攻受験者

専攻の詳細については、 https://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/labp/WebJ_ME.html を参照してください。

一般選抜(筆記試験)科目の配点は以下のとおりです。

- ・英語 100点(TOEIC, TOEFL又はIELTSのスコアで評価します*)
- ・数学 100点
- ・専門科目 300点

* TOEICの場合は800点、TOEFLの場合は89点(iBTの場合)、IELTSの場合は6.5点を満点として、専攻の定めた換算により配点します。なお、タイプの異なる複数の試験のスコアを同時に提示した場合、専攻の定めた換算により優れた方を採用します。

フロンティア工学専攻受験者

専攻の詳細については、 https://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/labp/WebJ_FE.html を参照してください。

一般選抜(筆記試験)科目の配点は以下のとおりです。

- ・英語 100点(TOEIC, TOEFL又はIELTSのスコアで評価します*)
- ・数学 100点

- ・専門科目 300点
- * TOEICの場合は800点, TOEFLの場合は89点(iBTの場合), IELTSの場合は6.5点を満点として, 専攻の定めた換算により配点します。なお, タイプの異なる複数の試験のスコアを提示した場合は, 専攻の定めた換算により優れた方を採用します。

電子情報通信学専攻受験者

専攻の詳細については, https://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/labp/WebJ_EI.htmlを参照してください。

一般選抜(筆記試験)科目の配点について

- ・英語 100点(TOEIC, TOEFL又はIELTSのスコアで評価します*)
- ・数学 100点
- ・専門科目 300点
- * TOEICの場合は800点, TOEFLの場合は89点(iBTの場合), IELTSの場合は6.5点を満点として, 専攻の定めた換算により配点します。なお, 複数のスコアを同時に提示した場合, 専攻の定めた換算により優れた方を採用します。

地球社会基盤学専攻受験者

専攻の詳細については, https://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/labp/WebJ_GC.htmlを参照してください。

一般選抜(筆記試験)科目の配点は以下のとおりです。

『地球惑星科学コース』

- ・英語 100点(TOEIC, TOEFL又はIELTSのスコアで評価します*)
- ・専門科目 200点
- * TOEICの場合は800点, TOEFLの場合は89点(iBTの場合), IELTSの場合は6.5点を満点として, 専攻の定めた換算法により配点します。タイプの異なる複数の試験のスコアを提示した場合は, 専攻の定めた換算法により換算し高い方の得点を採用します。

『社会基盤工学コース』

- ・英語 100点(TOEIC又はTOEFLのスコアで評価します*)
- ・数学 100点
- ・専門科目 300点
- * TOEICの場合は800点, TOEFLの場合は89点(iBTの場合)を満点として, 専攻の定めた換算方法により配点します。タイプの異なる複数の試験のスコアを提示した場合は, 専攻の定めた換算法により換算し高い方の得点を採用します。

生命理工学専攻受験者

コース及び研究分野の詳細については, https://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/labp/WebJ_BS.htmlを参照してください。

一般選抜(口述試験)科目の配点は以下のとおりです。

『生物科学コース』

- ・英語 100点(TOEIC, TOEFL又はIELTSのスコアで評価します*)
- ・口述試験(プレゼンテーションを含む) 100点
- * TOEICの場合は800点, TOEFLの場合は89点(iBTの場合), IELTSの場合は6.5点を満点として, 専攻の定めた換算法により配点します。タイプの異なる複数の試験のスコアを提示した場合は, 専攻の定めた換算法により換算し高い方の得点を採用します。

『バイオ工学コース』

- ・英語 100点(TOEIC, TOEFL又はIELTSのスコアで評価します*)
- ・口述試験(プレゼンテーションを含む) 200点
- * TOEICの場合は800点, TOEFLの場合は89点(iBTの場合), IELTSの場合は6.5点を満点として, 専攻の定めた換算法により配点します。タイプの異なる複数の試験のスコアを提示した場合は, 専攻の定めた換算法により換算し高い方の得点を採用します。

6. 研究分野・担当教員名簿

志願者調書（様式1）の志望専攻等、研究分野欄の記入について

「志望専攻・コース・系」欄に志望する専攻名，コース名及び系を記入してください。

- ・専攻名のみ記入する専攻…機械科学専攻，電子情報通信学専攻
- ・コース名を記入する専攻…数物科学専攻，物質化学専攻，地球社会基盤学専攻，生命理工学専攻
- ・系を記入する専攻…フロンティア工学専攻（「機械工学系」「化学工学系」「電子情報工学系」の中から1つ選んで記入する。）

「研究分野」欄においては，希望する研究分野を記入する必要があります。以下のWebサイトに掲載の担当教員名簿を参照のうえ第1志望及び第2志望を選択し，記入してください。電子情報通信学専攻，生命理工学専攻においては**必ず**第2志望まで記入してください。数物科学専攻，物質化学専攻，機械科学専攻，フロンティア工学専攻，地球社会基盤学専攻においては，第1志望を必ず記入し，第2志望は希望がある場合のみ記入してください。なお，第1志望と第2志望を異なる専攻，コース，系から選択することはできません。

大学院自然科学研究科博士前期課程 担当教員名簿

<https://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/labp/index.html>

(注) (***)印のついた教員は令和8年3月定年退職予定，(**)印のついた教員は令和9年3月退職予定，(#)印のついた教員は主任指導教員にはなれません。

7. 問合せ先

金沢大学理工系事務部学生課 入試係

〒920-1192 金沢市角間町

TEL: 076-234-6823 E-mail: s-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp

8. 個人情報の保護

本学では，独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び学内管理規程等に基づき，本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学選抜，入学時及び入学後に取得する全ての個人情報は，次の業務で利用します。

- (1) 入学選抜及び入学時に関する業務
- (2) 入学後の学籍管理，修学指導に関する業務及び健康診断等の保健管理に関する業務
- (3) 入学後の本学ポータルサイト利用，学内LAN利用，図書館利用及び図書貸し出し等の学内サービス業務
- (4) 入学料減免，授業料減免，奨学金手続等の修学支援に関する業務
- (5) 入学料・授業料の納入に関する業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- (6) 入試改革・教育改革に資する目的で個人が特定できない形で行う統計処理，調査研究業務及び学術会議等での発表
- (7) 在学者及びその家族を対象とする広報に関する業務及び基金（寄附）に関する業務
- (8) 修了生に対する学修成果等調査(アウトカムズ・アセスメント)，同窓会及び基金活動への支援，本学を通じた情報サービス・情報提供等に関する業務
- (9) 本人保護のための緊急対応に関する業務
- (10) その他，個人が特定できない形で行う統計処理業務

9. 本学入学選抜における性別情報

本学への出願時には，公的な統計調査等に必要な情報であるため，現時点では男女いずれかの性別の記入が必要です。本学では自認する性の記入が可能ですが，高等学校等が作成する調査書及び本学への出願書類等に記載の性別が一致している必要があります。

なお，合格・入学後も本学に提出する書類の中には，性別情報の記入が必要な場合がありますが，自認する性の記入が可能です（戸籍との照合や証明書等への記載は行っていません）。

10. その他

過去の試験問題の公表

過去の筆記試験問題については、下記Webサイトを参照ください。

金沢大学大学院自然科学研究科Webサイト

<https://www.nst.kanazawa-u.ac.jp/admission/exam.html>

XVI. 学生生活

1. 授業料等納付金

(1) 入学手続き時の必要経費

入学料 282,000円(予定)

(2) 授業料

前期分 267,900円(予定) [年額 535,800円(予定)]

注)上記(1)及び(2)の納付金額は予定額であり、入学時または在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。

(3) その他必要な経費

学生教育研究災害傷害保険(学研災)及び学研災付帯賠償責任保険(付帯賠償) 保険料(2年分)2,430円

2. 入学料免除

下記のいずれかの事由に該当する者で、入学料免除を申請した者に対し、選考の上、入学料の全額又は半額を免除することがあります。申請方法等の詳細は、後日公表する大学院入学手続要項を参照してください。

- ①大学院に入学する者で、経済的理由によって入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者
- ②入学前1年以内において、生計維持者が死亡し、又は本人若しくは生計維持者が風水害等の災害を受けた場合

なお、入学料免除申請に係る問合せ先は以下のとおりです。

学務部学生支援課学生支援係 〒920-1192 金沢市角間町 TEL 076-264-5164

3. 授業料免除

下記のいずれかの事由に該当する者で、授業料免除を申請した者に対し、選考の上、納入すべき学期の授業料の全額、半額又は一部を免除することがあります。申請方法等の詳細は、後日公表する大学院入学手続要項を参照してください。

- ①経済的理由により授業料を納入することが困難であり、かつ、学業が優秀である者
- ②各学期納付前6か月以内(新入学生は、入学年度の最初の学期に限り入学前1年以内)に、生計維持者が死亡し、又は本人若しくは生計維持者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納入が困難になった者

なお、授業料免除申請に係る問合せ先は以下のとおりです。

学務部学生支援課学生支援係 〒920-1192 金沢市角間町 TEL 076-264-5164

4. 奨学金

奨学金には、日本学生支援機構、都道府県・市区町村、民間の育英団体のものがあります。ほとんどが貸与奨学金であり、修了後に返還が必要です。

日本学生支援機構奨学金には、大学院進学前に大学院入学後の奨学金を予約する「予約採用」と大学院入学後に申込みを行う「在学採用」があります。本学では第一種奨学金(無利子)のみ「予約採用」を実施しており、予約採用で第一種奨学生全推薦数の約8割を募集します。第一種奨学生の約2割と第二種

奨学生(有利子)は在学採用で募集を行います。

①日本学生支援機構奨学金貸与月額(2025年博士前期課程入学者)

- ・ 第一種奨学金50,000円, 88,000円 から希望月額を選択
- ・ 第二種奨学金50,000円, 80,000円, 100,000円, 130,000円, 150,000円から希望月額を選択

②予約採用申請手続申請方法等の詳細は、合格後に送付されます。

なお、奨学金申請に係る問合せ先は以下のとおりです。

学務部学生支援課学生支援係 〒920-1192 金沢市角間町 TEL 076-264-5170

日本学生支援機構在学採用、地方公共団体・民間育英団体については、後日公表する大学院入学手続要項を参照してください。

修士課程・博士前期課程・専門職学位課程への進学者を対象として、「日本学生支援機構 特に優れた業績による奨学金返還免除制度」を設けています。

当内定制度への申請方法等は入学年の前年12月に以下の本学Webサイトに掲載します。

なお、年度により推薦枠が割り当てられない場合があります。

本学トップページ>学生生活>奨学金・各種給付・貸付等

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/economic/scholarship>

制度概要は日本学生支援機構Webサイトをご確認ください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/tetsuduki/syushinaitei.html>

また、外国人留学生を対象として、金沢大学独自の奨学金制度を設けています。

詳細については、下記Webサイトを参照してください。

<https://intl-support.w3.kanazawa-u.ac.jp>

5. 金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト (HaKaSe(ハカセプラス)＋)

金沢大学は、我が国そして世界の科学技術の進展及びイノベーションの創出の芽となり、未来社会の創造を担う卓越した博士人材を育成・輩出するため、志高い博士後期・博士課程学生への支援を強化しています。「博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト (HaKaSe+)」において、博士人材としての活躍を後押ししており、経済的支援に加え、研究専念環境の充実、学際性・国際性の涵養、博士学位取得後のキャリア形成等に向けた支援を提供しています。以下は、本学が実施している博士人材育成事業です。

なお、いずれも我が国の科学技術の進展及びイノベーションの創出に向けた博士学生支援の一環として、国による機関支援を受けて実施している事業であり、事業期間の終了や制度変更により支援内容に変更が生じることがあります。

【給付型奨励金を伴う博士人材育成事業（令和7年度適用）】

		「知」の共創と往還で実現する 新価値創造人材育成 プロジェクト (HaKaSe+ for SPRING)	金沢大学AI Open Science基盤の 知識循環が可能にする 先駆的AIクロスオーバー 博士人材育成プロジェクト (HaKaSe+ for BOOST)
事業内容		研究支援・キャリア形成支援	AI分野及びAI分野における新興・融合領域 (次世代AI分野)の 人材育成及び先端的研究開発の推進
対象研究科		全研究科	全研究科
課程		博士後期・博士	博士後期・博士
募集定員		年度により異なる。 大学全体で160名前後を支援	2名/年度
支援期間（原則）		博士後期課程又は博士課程（4年制）の 標準修業年限内	博士後期課程又は博士課程（4年制）の 標準修業年限内
経済的 支援内容	奨励金/月	180,000円	250,000円
	研究費/年	400,000円	900,000円
	旅費等支援	独自支援有	独自支援有
	入学料免除	—	—
	授業料免除	半額免除	半額免除
対象制限等	<p>[次のいずれかに該当する者は申請対象外]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本学術振興会特別研究員（DC） ・国費外国人留学生制度による支援を受ける外国人留学生 ・母国の奨学金等の支援を受ける外国人留学生 ・奨学金等（主として生活費相当額の支援を目的とするもの）を受ける者 <p>[次に該当する社会人学生は申請対象外]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所属する大学や企業等から生活費相当額として十分な水準（240万円/年）の給与・役員報酬等の安定的な収入を得ている者 ・所属企業等から十分な生活費相当額（240万円/年を基準とする）を受給可能な制度があるにもかかわらず、受給していない者 <p>なお、上記の収入要件とは別に、選抜学生としての研究専念義務を果たし得ない、あるいは本事業におけるキャリア開発・育成コンテンツの取組に専念できない状況にないと判断される場合には、支援対象としない。</p> <p>[外国人留学生]</p> <p>本学大学院博士後期・博士課程修了後、3年以上、日本の企業、大学、研究所等（在外の現地法人を含む）又は外資系企業の日本国内の事業所に就職することを誓約することが必要</p>		

[HaKaSe+担当] 金沢大学学務部学務課 jisedai@adm.kanazawa-u.ac.jp
最新情報はHaKaSe+ Webサイトをご確認ください。
<https://phd.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

6. 本学が加入を義務付けている学生保険

本学では、学生生活における事故に備え、**学生教育研究災害傷害保険（学研災）及び学研災付帯賠償責任保険（付帯賠償）への加入を義務付けています。**いずれの保険も、全国の大学・短期大学の学生を対象とし、公益財団法人日本国際教育支援協会が取り扱っている補償制度です。保険料及び納付方法等の詳細は、入学手続要項を確認してください。

学研災： 国内外において、①教育研究活動中に生じた急激かつ偶然な外来の事故、②通学中、学校施設等での移動中の事故によって身体に被る傷害（ケガ）に対して保険金が支払われます。

付帯賠償： 国内外において、正課、学校行事、課外活動又はその往復において、他人にケガを負わせた場合、他人の財物を損壊した場合等により、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について保険金が支払われます。付帯賠償と学研災の両方への加入が必須です。

なお、付帯賠償での「課外活動」は、学研災の「課外活動」と異なり、大学がインターンシップ又はボランティア活動の実施を活動目的として承認した団体が行うインターンシップ又はボランティア活動のことをいいます。

7. 外国人留学生の日本就職支援

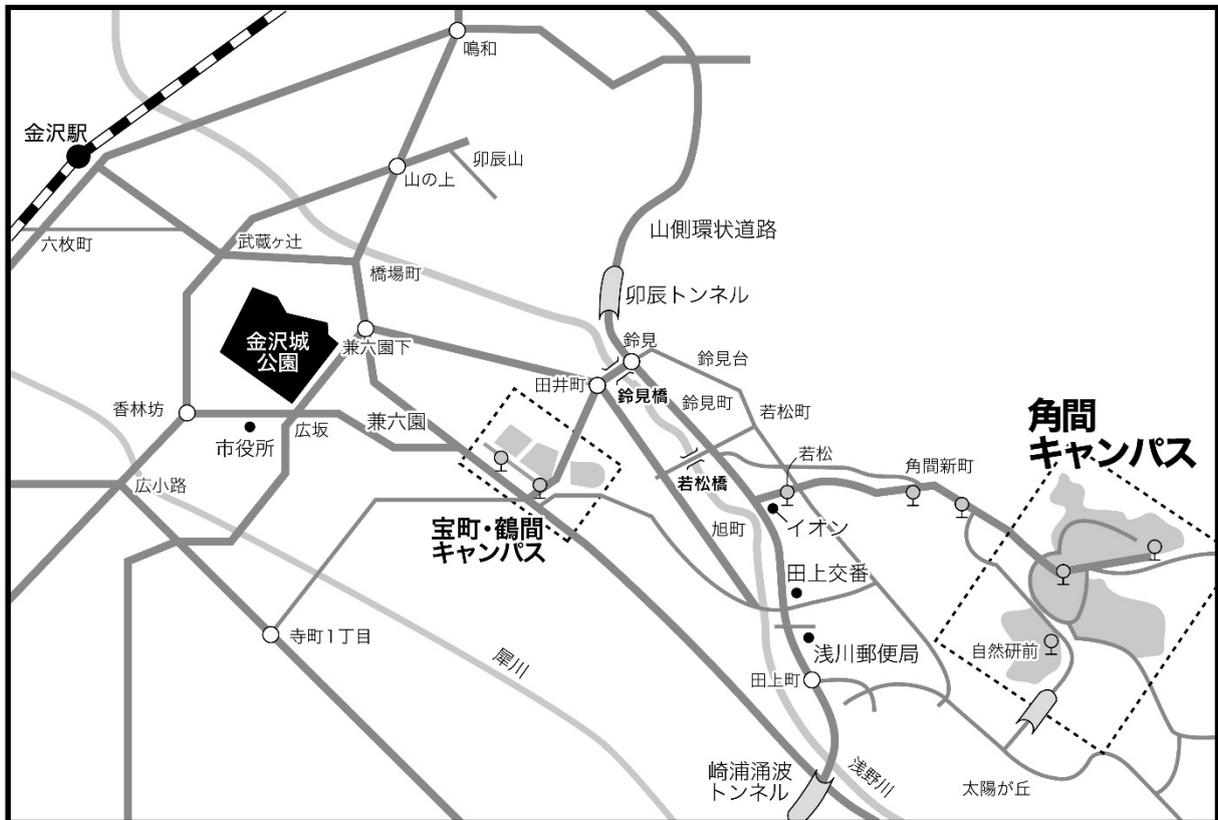
本学では、留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」として、日本での就職を目指す外国人留学生を対象に、ビジネス日本語教育・キャリア教育・インターンシップ教育等のプログラムを提供しています。これらのプログラムを通じて、高度な専門知識と技術を有するだけでなく、日本の企業文化や地域特性を理解した上で、日本企業で活躍できる人材を育成しています。

[問い合わせ先] 金沢大学学務部キャリア支援室「Link KAGAYAKI」事務局
TEL 076-264-6045 E-mail kagayaki-jimu@adm.kanazawa-u.ac.jp

「Link KAGAYAKI」 Webサイト
<https://kagayaki.w3.kanazawa-u.ac.jp/>



自然科学研究科の所在地略図



■ 金沢駅からキャンパスまでのアクセス (北陸鉄道バス利用の場合)

- 角間キャンパス〈バス停：金沢大学自然研前〉まで
JR金沢駅兼六園口(東口)から北陸鉄道バス「金沢大学(角間)」行き乗車「金沢大学自然研前」下車徒歩すぐ(自然科学本館まで), 徒歩3分(自然科学5号館まで)
(バス所要時間 約35分)

【様式 1】

令和 7 年度 金沢大学大学院
自然科学研究科博士前期課程

志願者調書

受験番号	※
------	---

選抜方式（いずれか一つに✓マークを記入してください）

- 一般選抜・A 試験 一般選抜・B 試験
 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜
 出身学部等限定特別選抜（※）
 ※機械科学専攻志望の方は次も記入してください。
 A 試験 B 試験
 ※地球社会基盤学専攻社会基盤工学コース志望の方は次も記入してください。
 I 型 II 型

ふりがな 氏名			
志望専攻 コース・系	専攻	コース・系	
研究分野	第 1 志望	第 2 志望	<input type="checkbox"/> 長期履修希望 <input type="checkbox"/> 14 条特例適用希望

学 歴

学校名（取得学位）		入学年月 卒業・卒業見込年月	正規の 修学年数
小学校 (注 6)		年 月 入学 年 月 卒業	年
中学校 (注 6)		年 月 入学 年 月 卒業	年
高等学校	高等学校 高等専門学校 科	年 月 入学 年 月 卒業	年
大学	大学 学部 学科 短期大学 学域 学類 専門学校 専攻 (取得学位：)	年 月 入学 年 月 卒業 卒業見込 その他 ()	年

職 歴（職歴がない場合は「なし」と記入して下さい。）

年 月	
年 月	
年 月	

注 1) ※欄は記入しないでください。

注 2) 志望専攻・コース・系欄の記入にあたっては、38 ページの「志願者調書の志望専攻等欄の記入について」に従い記入してください。フロンティア工学専攻においては、「機械工学系」「化学工学系」「電子情報工学系」の中から 1 つ選んで記入してください。

注 3) 研究分野の第 1 志望、第 2 志望の記入にあたっては、38 ページに記載の Web サイトから選択し記入してください。電子情報通信学専攻、生命理工学専攻においては必ず第 2 志望まで記入してください。ただし、数物科学専攻、物質化学専攻、機械科学専攻、フロンティア工学専攻、地球社会基盤学専攻においては、第 1 志望は必ず記入し、第 2 志望がある場合のみ記入してください。なお、第 1 志望と第 2 志望を異なる専攻、コース、系から選択することはできません。

注 4) 長期履修、14 条特例適用希望については、35 ページを参照してください。

注 5) □には、該当する場合のみ✓マークを記入してください。

注 6) 小学校、中学校欄については、9～10 ページ「IV. 出願資格」(3), (5), (6), (9), (10) 又は (11) により出願しようとする者のみ記入してください。

【様式 2】

令和 7 年度 金沢大学大学院

自然科学研究科博士前期課程

一般選抜 B 試験（数物科学専攻）志願者

社会人特別選抜志願者

出身学部等限定特別選抜（地球社会基盤学専攻社会基盤工学コース）志願者

受験番号

※

推薦書・意見書

志願者氏名：		(志望専攻：	専攻	コース・系)
(志望専攻における希望指導教員名：)		
・志願者の研究内容，希望，素質及び能力等についてのご意見をご記入ください。				
年 月 日		志願者との関係		
推薦者氏名（署名）				
連絡先	所属機関	職 名		
	所在地	電話（ ） —		

注 1) 記入者は勤務先の所属長又は卒業研究の指導教員としてください。

注 2) ※欄は記入しないでください。

【様式 3】

令和 7 年度金沢大学大学院

自然科学研究科博士前期課程

一般選抜 A 試験（生命理工学専攻）志願者

一般選抜 B 試験（数物科学専攻）志願者

外国人留学生特別選抜（生命理工学専攻）志願者

出身学部等限定特別選抜（地球社会基盤学専攻社会基盤工学コース及び生命理工学専攻）志願者

受験番号

※

志 願 理 由 書

記入にあたっての注意

大学時代などこれまでの研究活動，数物科学専攻，地球社会基盤学専攻社会基盤工学コース又は生命理工学専攻を志望する理由，特に研究を希望する分野・内容，大学院での抱負，大学院修了後に活躍したい分野などについて簡潔・明瞭に記入してください。（数物科学専攻志願者は 1,500 字程度で，この様式に記入できない場合は別葉を加えてください。地球社会基盤学専攻社会基盤工学コース志願者は 1,000 字以内で記入してください。生命理工学専攻志願者は，口述試験におけるプレゼンテーションの内容を中心に 1,500 字程度で記入してください。英語の場合，500 単語程度で記入してください。）

(以下裏頁)

年 月 日

氏 名

※欄は記入しないでください。

【様式 4】

令和 7 年度金沢大学大学院

自然科学研究科博士前期課程

一般選抜 B 試験（数物科学専攻除く）志願者

出身学部等限定特別選抜（物質化学専攻，機械科学専攻 B 試験，地球社会基盤学専攻地球惑星科学コース，生命理工学専攻バイオ工学コース）志願者

受験番号

※

自己申告書

記入にあたっての注意

これまで興味を持って取り組んできたこと，得意科目，希望する研究分野・内容及び大学院進学後の抱負などについて，400 字程度で簡潔にまとめてください。

年	月	日	(志望専攻：)
			専攻
			氏名
			コース・系)

志願者調書記載の研究分野を記入してください。

第 1 志望：

第 2 志望：

※欄は記入しないでください。

【様式 5】

令和 7 年度 金沢大学大学院
自然科学研究科博士前期課程
社会人特別選抜 志願者

受験番号

※

研究（希望）計画書

記入にあたっての注意

入学後に希望する課題又は分野等について、概要を 1,000 字程度にまとめて記入してください。

 長期履修希望 14 条特例適用希望

(以下裏頁)

年

月

日

(志望専攻：

専攻

コース・系)

氏

名

注 1) ※欄は記入しないでください。

注 2) 長期履修を希望する場合には、□に✓を記入してください。(長期履修制度については、35 ページ参照)

注 3) 14 条特例適用を希望する場合には、□に✓を記入してください。(14 条特例については、35 ページ参照)

受験番号	※
------	---

受 験 許 可 書

金沢大学大学院自然科学研究科長 殿

このたび、 _____ が貴大学大学院自然科学研究科
_____ 専攻（博士前期課程）を受験することを許可します。

なお、本人が貴大学大学院自然科学研究科に入学した場合は、在
職のまま在学することを認めます。

年 月 日

(所属・職名)

(氏 名)

印

【様式 7】

受験番号	※
------	---

年 月 日

金沢大学大学院自然科学研究科長 殿

申請者氏名（署名）_____

大学院設置基準第 14 条に基づく教育方法の特例の適用申請について

このことについて、下記の理由により修学上必要としますので、大学院設置基準第 14 条に基づく教育方法の特例を適用くださるようお願いします。

記

(申請理由)

--

※欄は記入しないでください。

【様式 8】

受験番号	※
------	---

国費外国人留学生及び奨学金支給延長予定証明書

氏 名 :

生 年 月 日 :

国 籍 :

在籍課程・学科 :

入 学 年 月 日 :

卒業見込年月日 :

上記の者について、次のとおり証明します。

- 1 同人は、日本政府（文部科学省）奨学金留学生（国費留学生）として本校に在籍中である。
- 2 同人の奨学金支給期間は、 年 月までである。
- 3 同人は、奨学金支給期間延長を申請予定である。

年 月 日

大 学 名

証明者の役職

証明者の氏名



【様式 I】

入学試験出願資格認定申請書

受験番号	※		
<p>金沢大学大学院自然科学研究科長 殿</p> <p>貴大学大学院自然科学研究科（博士前期課程）入学試験に出願を希望します。 ついては、出願資格の認定を受けたいので、所定の書類を添えて申請します。</p> <p>年 月 日 ふりがな 氏 名 _____ 男 ・ 女 _____ 年 月 日生（ 歳）</p>			
現住所	<p>(〒)</p> <p>連絡先 TEL 携帯 TEL</p>		
学 歴			
	学校名	入学年月日 卒業・卒業見込	正規の 修学年数
小学校		年 月 入学 年 月 卒業	年
中学校		年 月 入学 年 月 卒業	年
高等学校	高等学校 高等専門学校 科	年 月 入学 年 月 卒業	年
大学	大 学 学部 学科 短期大学 学域 学類 専門学校 専攻 (取得学位：)	年 月 入学 年 月 卒業 卒業見込 その他 ()	年
職 歴			
※職歴がない場合は「なし」と記入してください。			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			

※本様式に書ききれない場合は裏面を利用してください。